

## ■第2章 介護現場における 介護過程実践に関する調査 (量的調査)



# 1 調査の枠組み

## (1) 目的

介護過程の実践の有無、具体的実践状況、実践における課題について把握することを目的に、量的調査として「介護現場における介護過程実践の実態調査」を実施した。

## (2) 調査対象とサンプル数

本調査研究においては、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害者支援施設を対象とした。調査対象サンプル数の合計は5,518施設である。

### ◆対象1：介護老人福祉施設

公益社団法人全国老人福祉施設協議会様により、会員である全国の介護老人福祉施設の中から2,500施設を無作為抽出。

### ◆対象2：介護老人保健施設

公益社団法人全国老人保健施設協会様により、会員である全国の介護老人保健施設の中から2,500施設を無作為抽出。

### ◆対象3：障害者支援施設

全国身体障害者施設協議会様の会員である全518施設。

## (3) 調査内容

柱	質問内容
1. 基本的事項	問1 本調査の回答者 問2 貴施設の基本情報
2. 個別介護計画の作成状況	問3 介護職による個別介護計画の作成 問4 個別介護計画を作成していない理由 問5 個別介護計画の作成対象者 問6 個別介護計画の作成理由・目的 問7 個別介護計画の作成の状況 問8 個別介護計画による効果や変化

柱	質問内容
3. 施設サービス計画（ケアプラン）に対する介護職の関わり	問 9 施設サービス計画／サービス等利用計画の作成・更新のアセスメント 問 10 施設サービス計画／サービス等利用計画の立案 問 11 施設サービス計画／サービス等利用計画に基づく介護実践 問 12 施設サービス計画／サービス等利用計画の評価 問 13 施設サービス計画／サービス等利用計画に介護職が関わることの効果や変化
4. 介護職が用いているツールや書式	問 14 介護職が用いているツールや書式
5. 個別介護計画／個別支援計画に対する理解	問 15 個別介護計画／個別支援計画に対する理解
6. 介護過程の実践における改善点や課題	自由記載 (1) アセスメント、計画立案、実施、評価それぞれの段階における改善点や課題 (2) 書式やツールに関する改善点や課題 (3) 人材育成に関する改善点や課題 (4) 組織（体制）に関する改善点や課題 (5) その他、介護過程の実践を推進していくための改善点や課題

#### (4) 調査方法と調査期間

郵送により対象施設に配布した。回答は郵送、ウェブフォーム回答（google フォームを活用）、エクセルファイルダウンロードによる回答（サーバーにアクセスし、エクセルファイルをダウンロードして回答したのち、メールの添付ファイルにより送信）とし、回答方法は回答者による選択に委ねた。

調査期間は、令和 2 年 12 月 2 日～30 日とした。令和 3 年 1 月 18 日までは回答を受け付け集計に反映させた。

#### (5) 実査及び集計における配慮・留意点等

##### ◆倫理的配慮

回答は全て無記名とするとともに、データは本調査研究以外に使用しないこと、統計的に処理することを明記した。

### ◆回収率の向上の取り組み 1

協力機関からの依頼として、公益社団法人日本介護福祉士会 会長名の依頼状（調査ご協力のお願い）を同封して郵送した。

### ◆回収率の向上の取り組み 2

回収率の向上を意図し、12月14日にハガキによる礼状兼督促を送付した。本調査は無記名であるため、返送の有無にかかわらず全施設に郵送した。

### ◆非標本誤差を抑える取り組み 1

介護保険施設と障害者支援施設では用語が違うことから、障害者支援施設の関係者より回答がしにくいという指摘が作業部会においてなされたため、調査票を高齢者用と障害者用に分け、用語をそれぞれに合わせて調査票を作成し、送付した。

質問の流れや内容は同一としたが、一部選択肢が違う部分がある。

### ◆非標本誤差を抑える取り組み 2

本調査研究では、介護保険施設における介護職が作成する計画について「個別介護計画」という用語を用いているが、現場で使用されている用語が統一的ではないことを踏まえ、回答者が誤解なく回答できるように、別紙として「個別介護計画とは」「施設サービス計画とは」を解説する文書を添付して郵送した。

### ◆「個別介護計画」の表記について

本調査研究では、介護老人福祉施設及び介護老人保健施設において、介護過程のPDCAサイクルの中で介護職が介護内容や方法を定める計画を「個別介護計画」と表記している。施設により、個別援助計画、介護計画などと呼ばれている場合があることに留意されたい。

### ◆集計に関する留意点

介護保険施設における「個別介護計画」は策定の法的根拠がなく、一方で障害者支援施設における「個別支援計画」は策定が義務づけられている。全施設を合算して集計することは、結果に歪みを生じさせるため以降に掲載する集計においては、施設種類別に集計をしている。各施設種別の合計は、下表回収数となる。

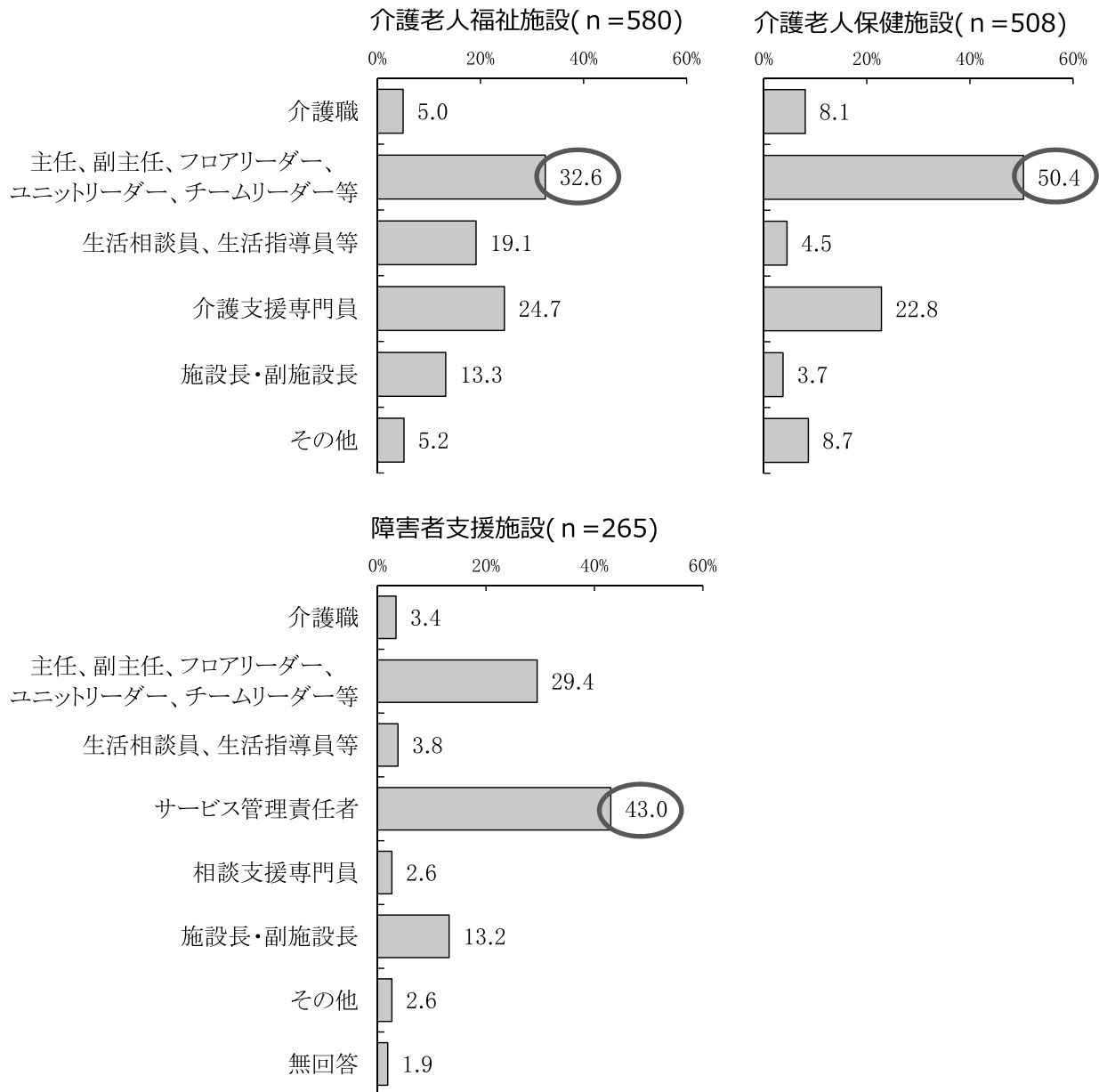
## (6) 回収数

施設区分	サンプル数	回答数	回収率
介護老人福祉施設	2,500	580	23.2%
介護老人保健施設	2,500	508	20.3%
障害者支援施設	518	265	51.2%
合計	5,518	1,353	24.5%

## 2 回答施設の基本属性

### (1) 調査の回答者

問1 本調査の回答者（介護福祉士資格所持者）はどなたですか。（1つに○）



## (2) 回答施設の基本属性

問2 貴施設の基本情報についてお聞かせください。

### ① 回答施設の法人種別

	介護老人福祉施設 (n=580)	介護老人保健施設 (n=508)	障害者支援施設 (n=265)
社会福祉法人	97.2%	19.1%	98.9%
医療法人	1.0%	69.9%	—
都道府県・市町村	1.4%	3.5%	—
財団法人	—	1.2%	—
社団法人	—	2.0%	—
その他	—	3.7%	—
無回答	0.3%	0.6%	0.4%

### ② 回答施設の所在都道府県

単位:施設

	介福	老健	障害
北海道	44	19	12
青森県	12	13	7
岩手県	10	10	3
宮城県	20	13	6
秋田県	22	12	4
山形県	15	13	3
福島県	14	11	8
茨城県	15	13	7
栃木県	5	3	5
群馬県	15	10	11
埼玉県	5	15	9
千葉県	13	14	10
東京都	21	22	6
神奈川県	18	16	4
新潟県	22	16	10
富山県	9	4	2
石川県	4	6	2
福井県	8	3	6
山梨県	8	5	4
長野県	3	16	6
岐阜県	15	2	5
静岡県	25	14	8
愛知県	23	18	10
三重県	8	10	3
滋賀県	0	8	1
京都府	8	8	3
大阪府	9	34	6
兵庫県	19	25	10
奈良県	5	11	1
和歌山県	5	4	2
鳥取県	5	7	2
島根県	10	5	1
岡山県	16	11	6
広島県	21	12	5
山口県	14	6	6
徳島県	7	5	3
香川県	5	9	4
愛媛県	12	7	8
高知県	5	5	4
福岡県	12	19	12
佐賀県	1	3	4
長崎県	8	6	2
熊本県	15	11	8
大分県	9	9	2
宮崎県	9	5	5
鹿児島県	23	9	7
沖縄県	6	5	8
無回答	2	6	4
<b>合計</b>	<b>580</b>	<b>508</b>	<b>265</b>

### ③回答施設の事業開始年

	合計	1999年以前	2000～2010年	2011年以降	無回答
介護老人福祉施設 (地域密着型含む)	580 100.0	364 62.8	126 21.7	60 10.3	30 5.2
介護老人保健施設	508 100.0	293 57.7	139 27.4	47 9.3	29 5.7
障害者支援施設	265 100.0	174 65.7	76 28.7	7 2.6	8 3.0

上段:実数、下段:%

### ④回答施設の入所定員

施設種別	1施設あたり平均
介護老人福祉施設(地域密着型含む)	72.2人
介護老人保健施設	92.9人
障害者支援施設	58.3人

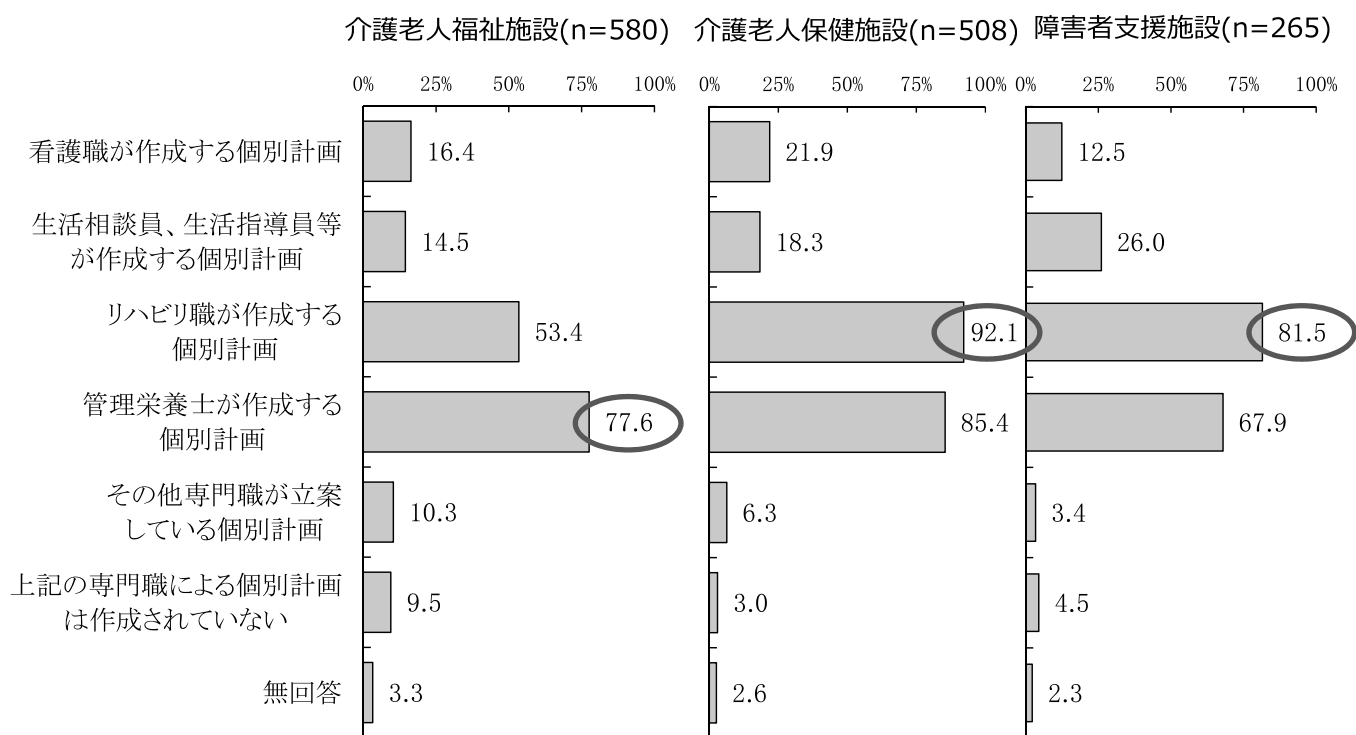
### ⑤回答施設の介護職員数(平均値)

	介護老人福祉施設 1施設あたり平均	介護老人保健施設 1施設あたり平均	障害者支援施設 1施設あたり平均
介護職員合計人数	36.9人	35.3人	36.3人
正職員	26.0人	27.9人	25.5人
うち介護福祉士資格所持者	19.7人	22.0人	16.1人
正職員以外	11.4人	8.8人	12.0人
うち介護福祉士資格所持者	4.0人	3.3人	2.9人
経験年数3年以上の割合	72.1%	76.7%	71.2%



## ⑥介護職以外の専門職が立案している個別計画

(あてはまるもの全てに○)



### 3 個別介護計画の作成状況（※）

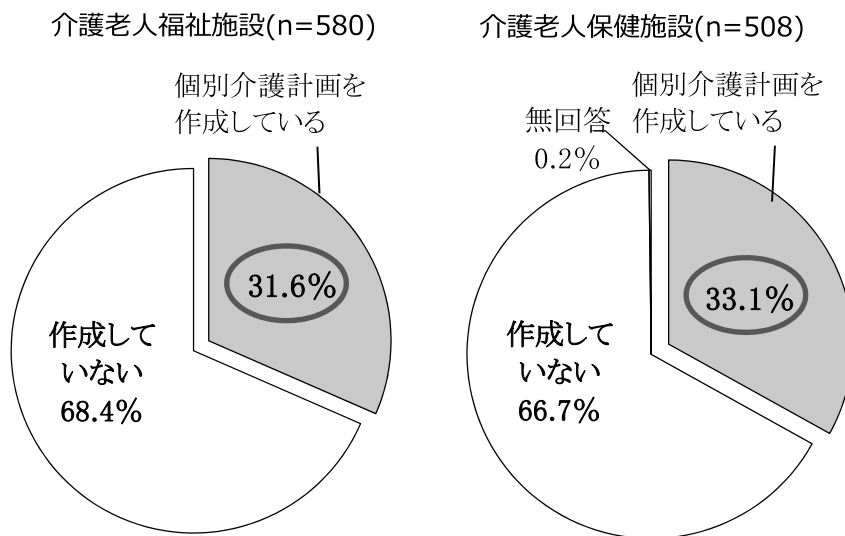
#### （1）個別介護計画作成の有無

問3 現在、貴施設においては、介護職による個別介護計画を作成していますか。

（1つに○）

※ここでいう「作成」とは、紙面やデータとして可視化されている状態を意味します

※個別介護計画の様式や書式は問いません



事業開始年別にみた個別介護計画作成の有無

	介護老人福祉施設				介護老人保健施設			
	合計	作成している	作成していない	無回答	合計	作成している	作成していない	無回答
全体	580 100.0	183 31.6	397 68.4	0 0.0	508 100.0	168 33.1	339 66.7	1 0.2
1999年以前	364 100.0	108 29.7	256 70.3	0 0.0	293 100.0	93 31.7	199 67.9	1 0.3
2000～ 2009年	119 100.0	46 38.7	73 61.3	0 0.0	136 100.0	46 33.8	90 66.2	0 0.0
2010年以降	67 100.0	19 28.4	48 71.6	0 0.0	50 100.0	18 36.0	32 64.0	0 0.0

※定員の無回答は掲載を省略、上段は施設数、下段は%

（※）調査においては、障害者支援施設の個別支援計画作成状況についても回答を求めた。同計画は法定化されていることから、作成率や策定理由等は介護保険施設と異なる。介護保険施設との比較は誤解を生じる可能性があるため、個別支援計画作成状況については集計から除外した。

入所定員別にみた個別介護計画作成の有無

	介護老人福祉施設				介護老人保健施設			
	合計	作成している	作成していない	無回答	合計	作成している	作成していない	無回答
全体	580 100.0	183 31.6	397 68.4	0 0.0	508 100.0	168 33.1	339 66.7	1 0.2
50人以下	49 100.0	↑ 20 40.8	↓ 29 59.2	0 0.0	15 100.0	↑ 6 40.0	↓ 9 60.0	0 0.0
50～99人	426 100.0	↑ 141 33.1	↓ 285 66.9	0 0.0	219 100.0	↑ 77 35.2	↓ 142 64.8	0 0.0
100人以上	104 100.0	↓ 22 21.2	↓ 82 78.8	0 0.0	264 100.0	↓ 84 31.8	↓ 179 67.8	1 0.4

※定員の無回答は掲載を省略、上段は施設数、下段は%

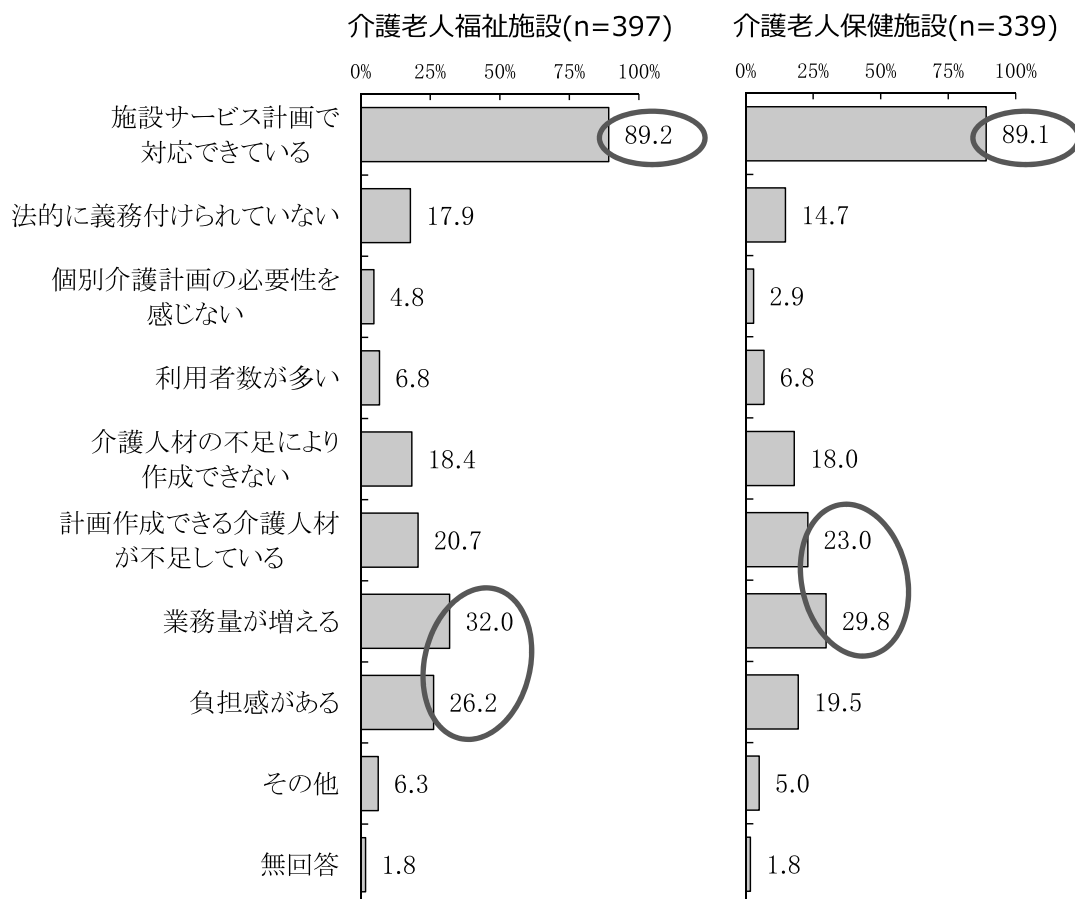
経験年数3年以上の介護福祉士の割合別にみた個別介護計画作成の有無

	介護老人福祉施設				介護老人保健施設			
	合計	作成している	作成していない	無回答	合計	作成している	作成していない	無回答
全体	580 100.0	183 31.6	397 68.4	0 0.0	508 100.0	168 33.1	339 66.7	1 0.2
49%以下	66 100.0	↓ 17 25.8	↓ 49 74.2	0 0.0	43 100.0	↓ 14 32.6	↓ 29 67.4	0 0.0
50～79%	251 100.0	↓ 80 31.9	↓ 171 68.1	0 0.0	152 100.0	↓ 44 28.9	↓ 107 70.4	1 0.7
80%以上	212 100.0	↓ 69 32.5	↓ 143 67.5	0 0.0	250 100.0	↓ 87 34.8	↓ 163 65.2	0 0.0

※定員の無回答は掲載を省略、上段は施設数、下段は%

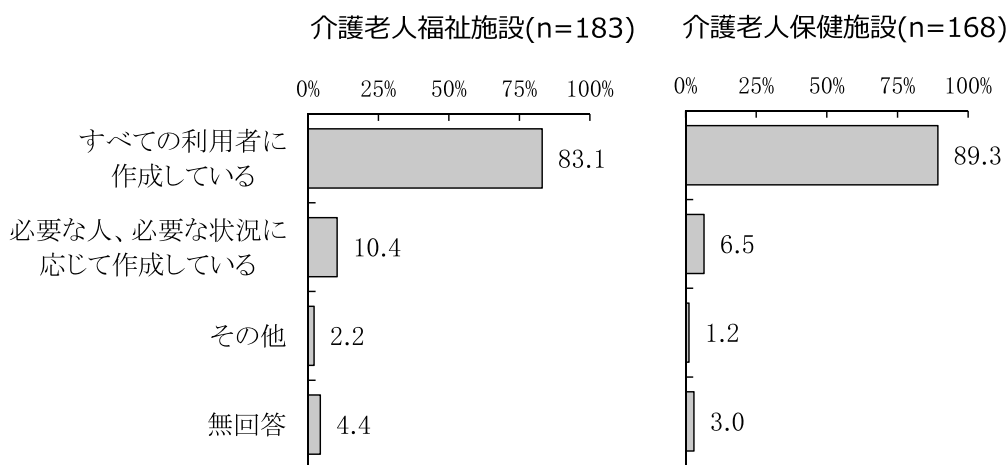
## (2) 個別介護計画を作成していない理由

問4 個別介護計画を作成していない理由をお教えてください。(あてはまるもの全てに○)



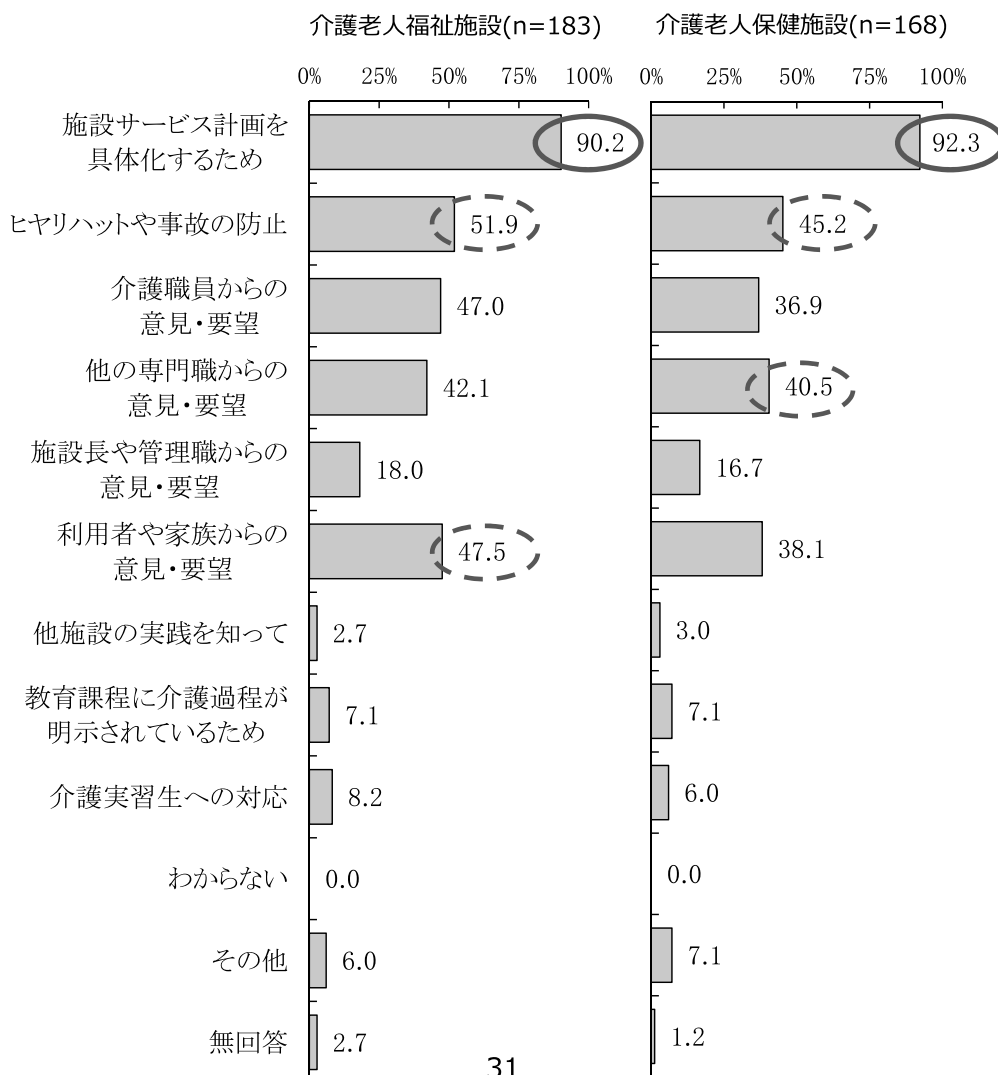
### (3) 個別介護計画の作成対象者

問5 個別介護計画は、全ての利用者に作成していますか。



### (4) 個別介護計画の作成理由・目的

問6 個別介護計画を作成している理由をお教えてください。(あてはまるもの全てに○)



## (5) 個別介護計画の作成状況

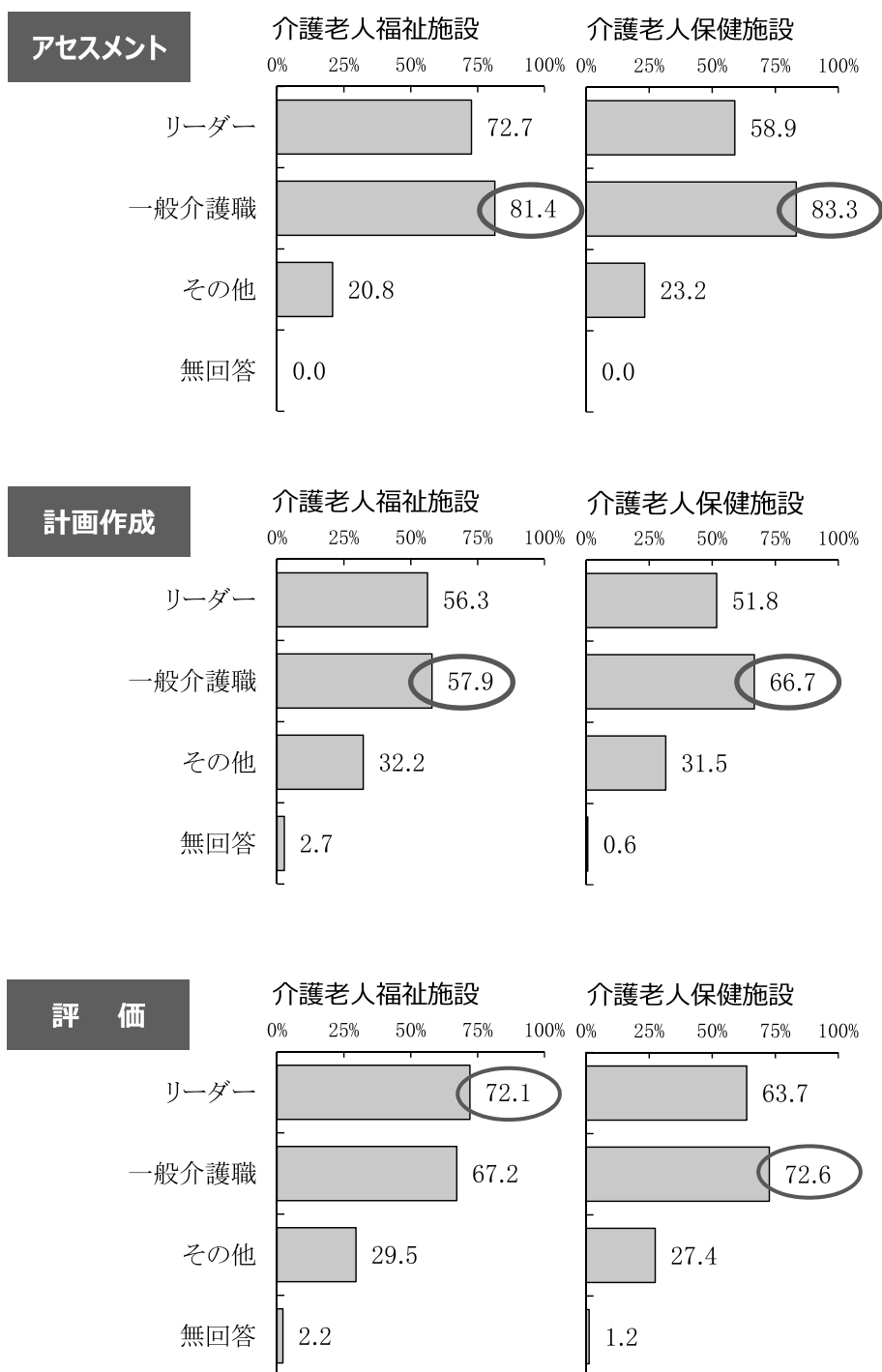
### ① アセスメント・計画作成・評価者の職位

問7 個別介護計画の作成の状況をお教えてください。

①アセスメント・計画作成・評価をしている人 (全てに○)

※介護老人福祉施設 (n=183)、介護老人保健施設 (n=168)

※「リーダー」=主任、副主任、チームリーダー、フロアリーダー、ユニットリーダー等

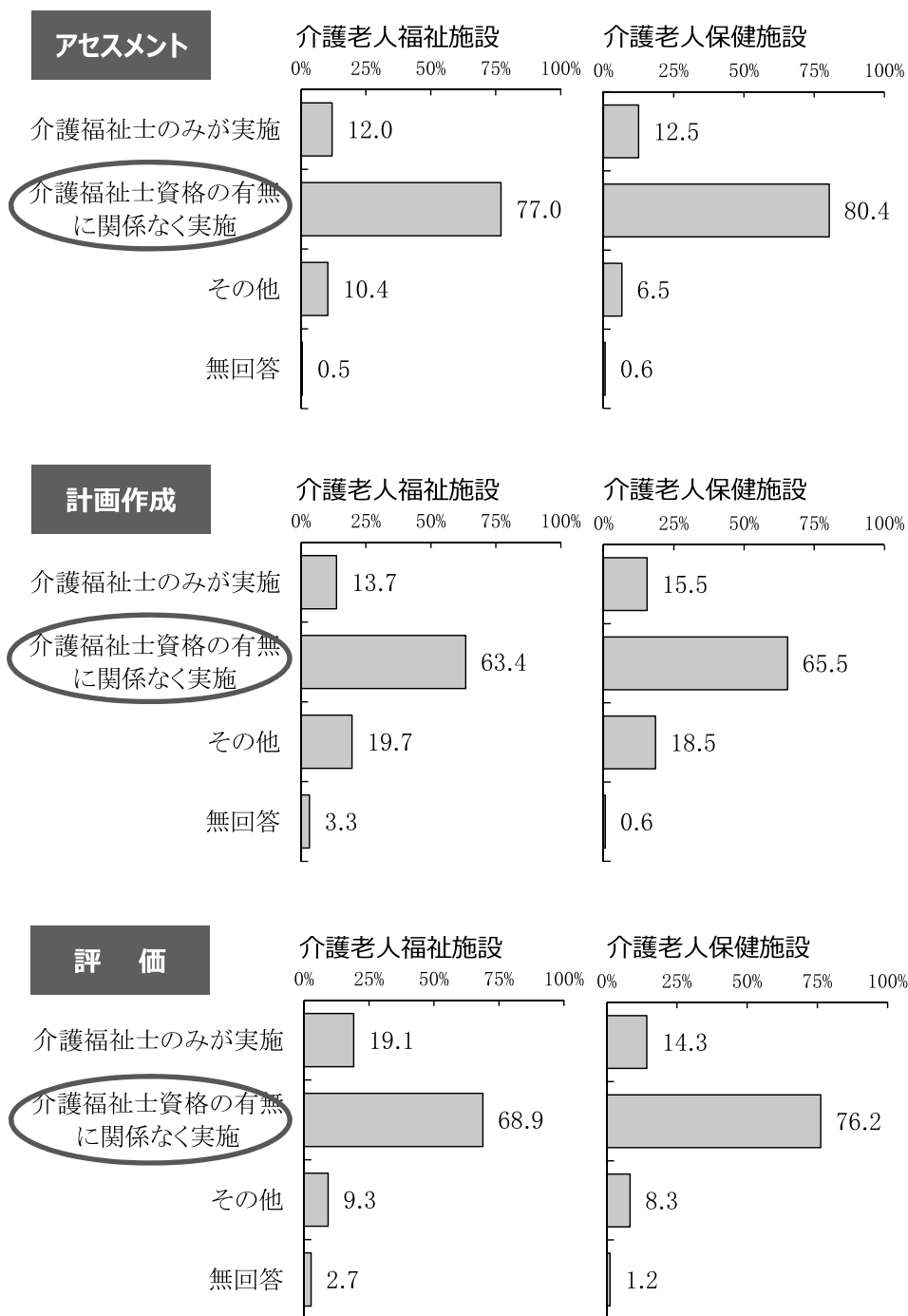


## ②アセスメント・計画作成・評価者の資格状況

問7 個別介護計画の作成の状況をお教えてください。

②アセスメント・計画作成・評価をしている人の資格（1つに○）

※介護老人福祉施設（n=183）、介護老人保健施設（n=168）

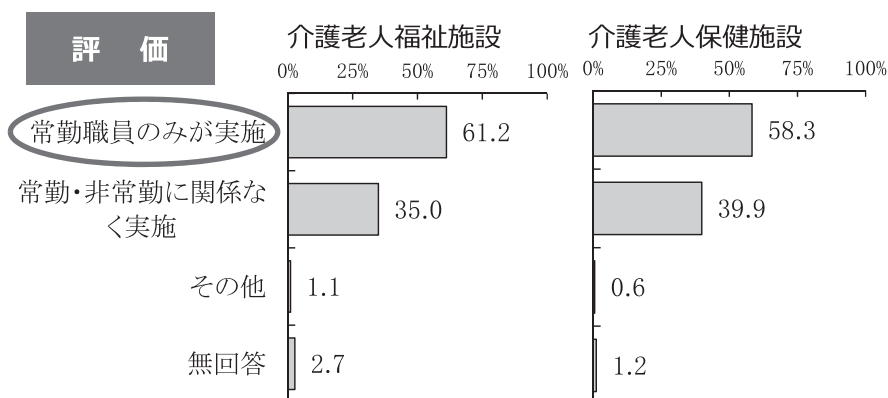
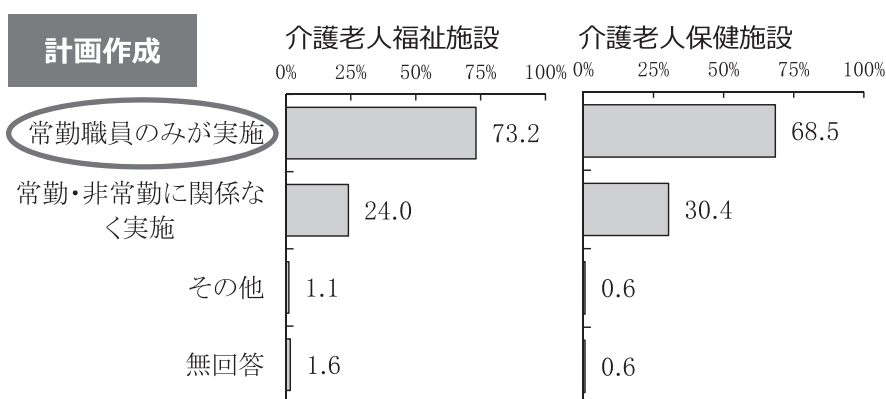
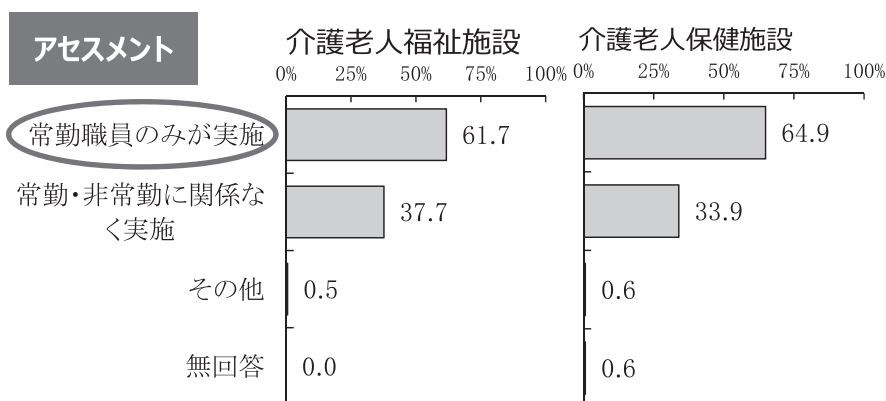


### ③アセスメント・計画作成・評価者の雇用状況

問7 個別介護計画の作成の状況をお教えてください。

#### ③アセスメント・計画作成・評価をしている人の雇用状況（1つに○）

※介護老人福祉施設（n=183）、介護老人保健施設（n=168）



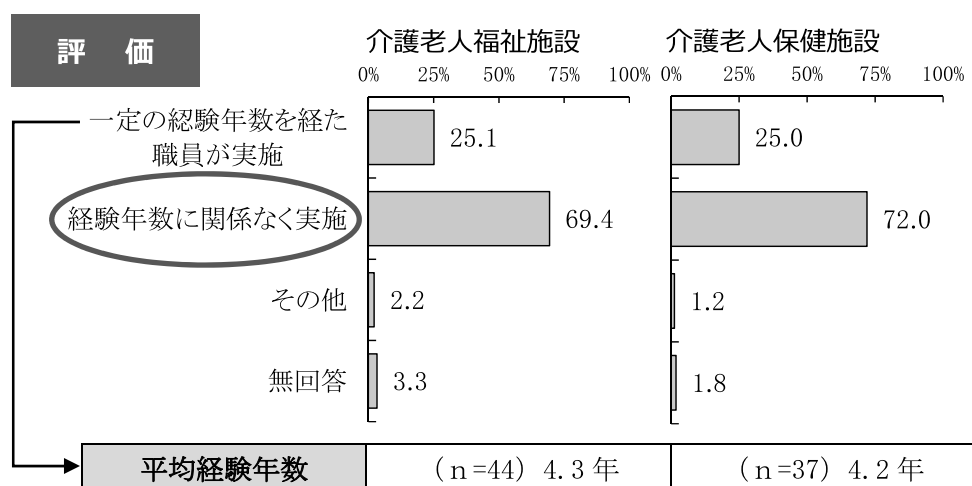
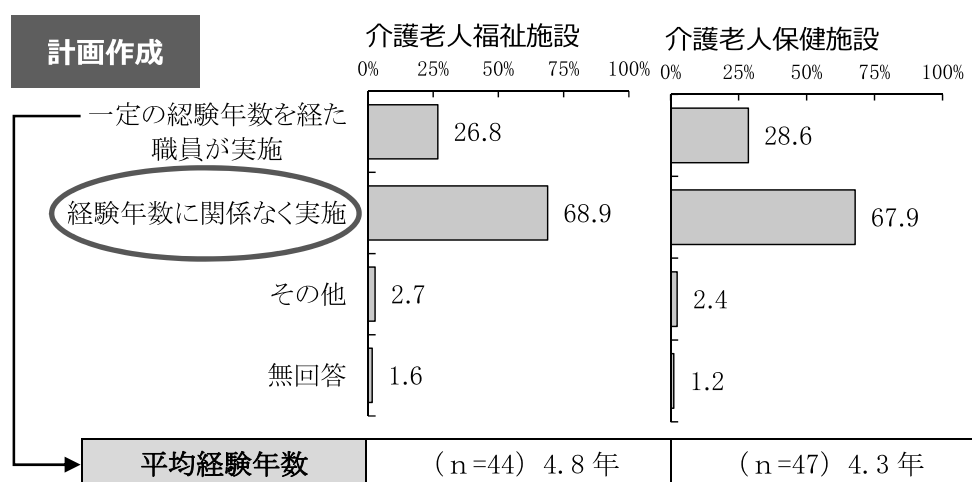
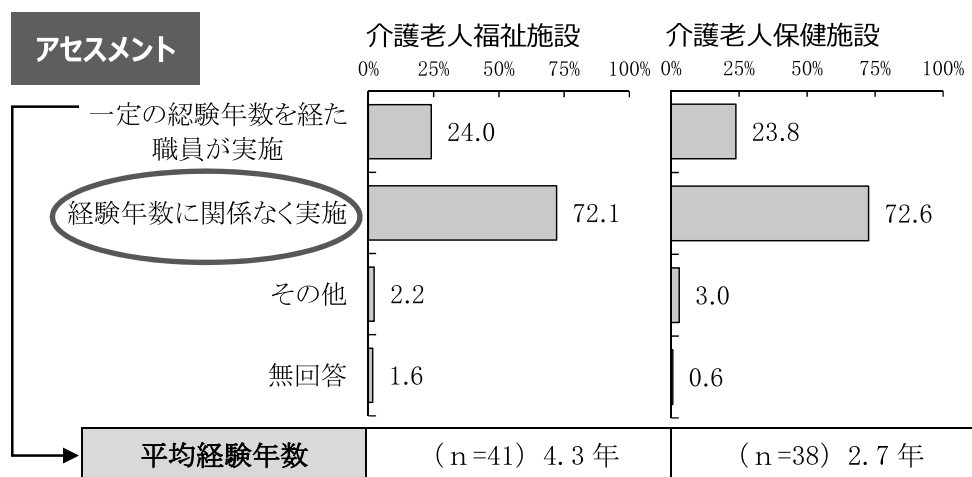


## ④ アセスメント・計画作成・評価者の経験年数

問7 個別介護計画の作成の状況をお教えてください。

### ④ アセスメント・計画作成・評価をしている人の経験年数（1つに○）

※介護老人福祉施設（n=183）、介護老人保健施設（n=168）



## ⑤内容の点検や助言をしている人

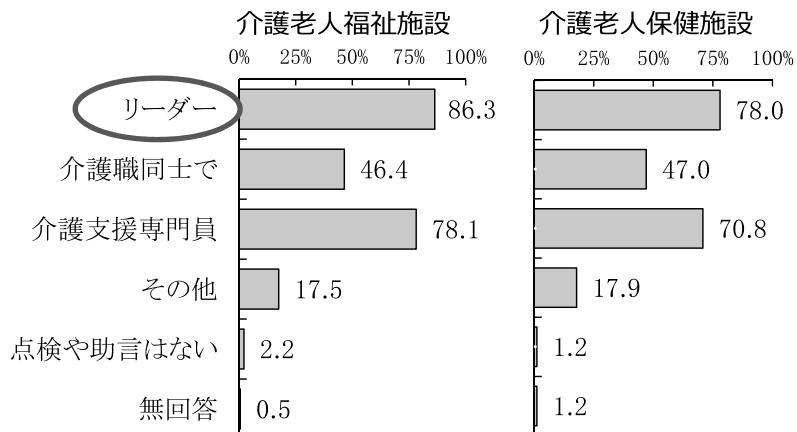
問7 個別介護計画の作成の状況をお教えてください。

⑤内容の点検や助言をしている人 (全てに○)

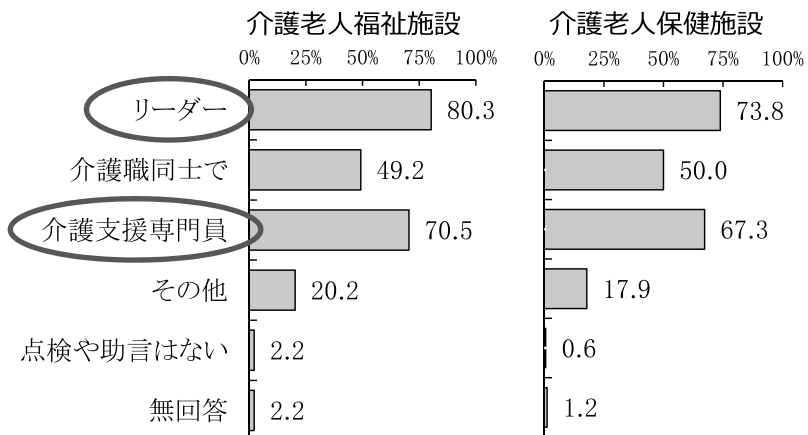
※介護老人福祉施設 (n=183)、介護老人保健施設 (n=168)

※「リーダー」=主任、副主任、チームリーダー、フロアリーダー、ユニットリーダー等

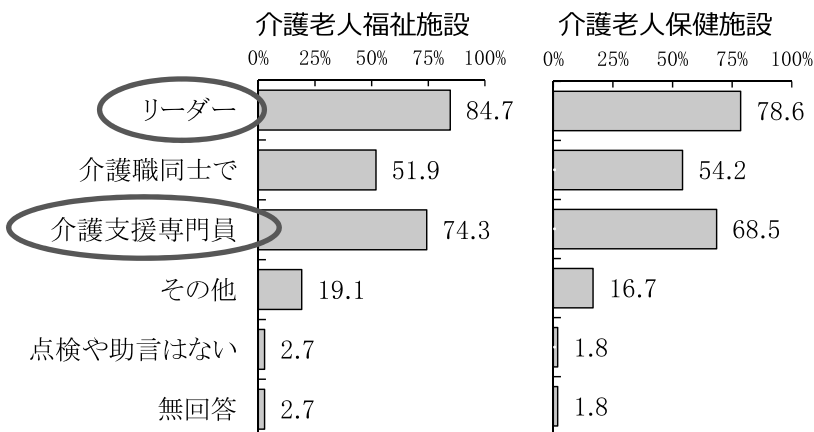
### アセスメント



### 計画作成

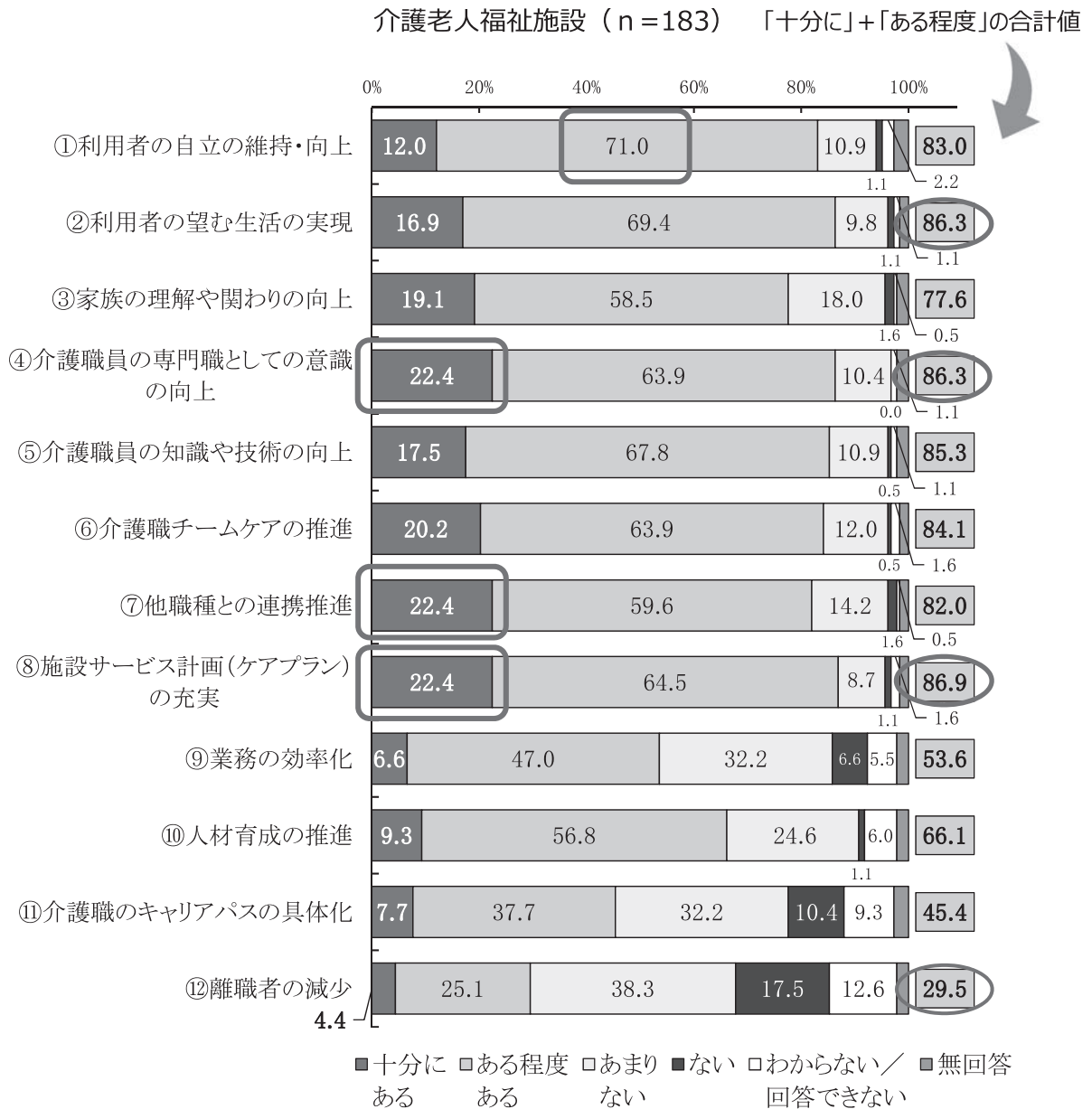


### 評価

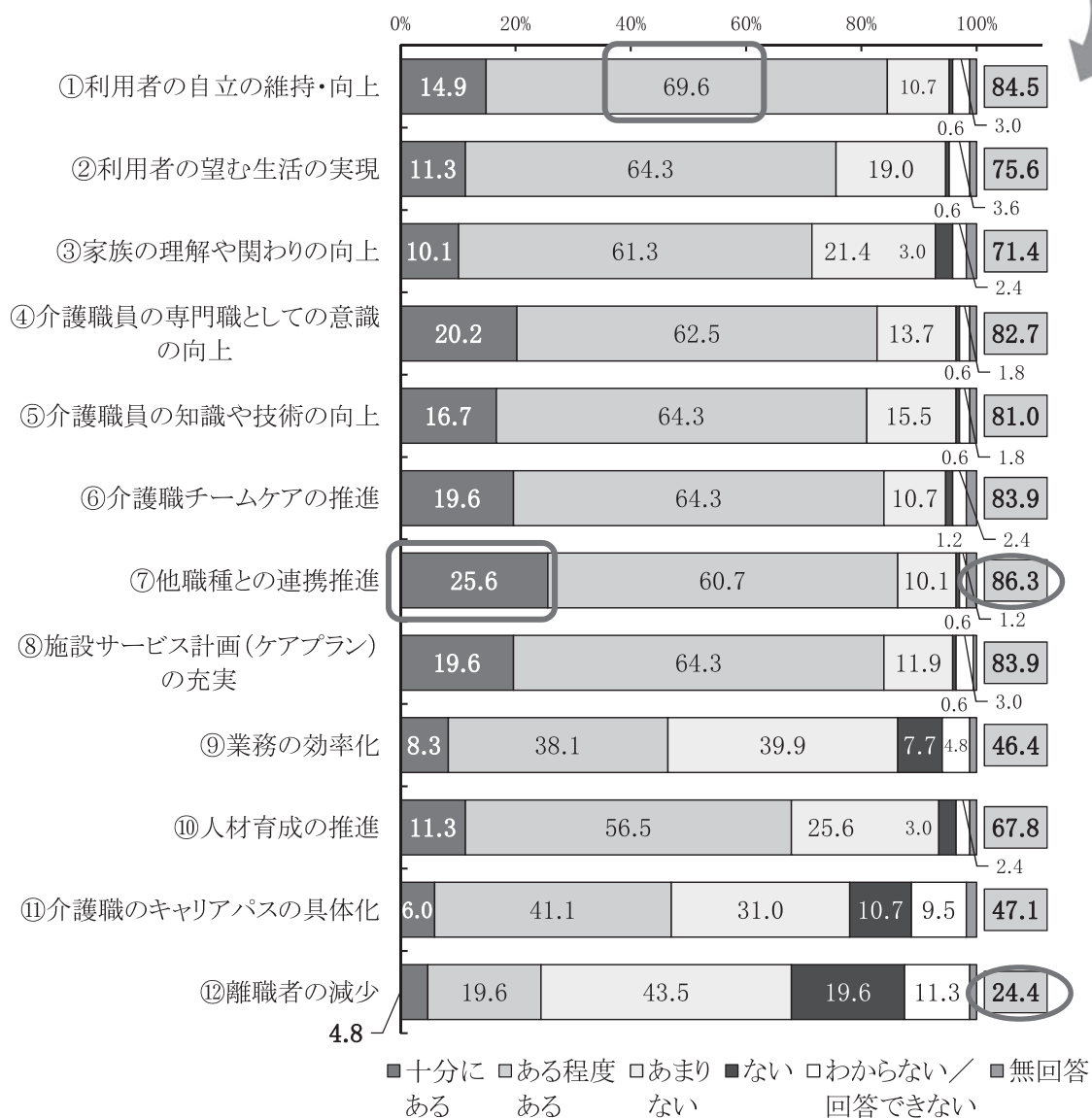


## 4 個別介護計画／個別支援計画による効果や変化

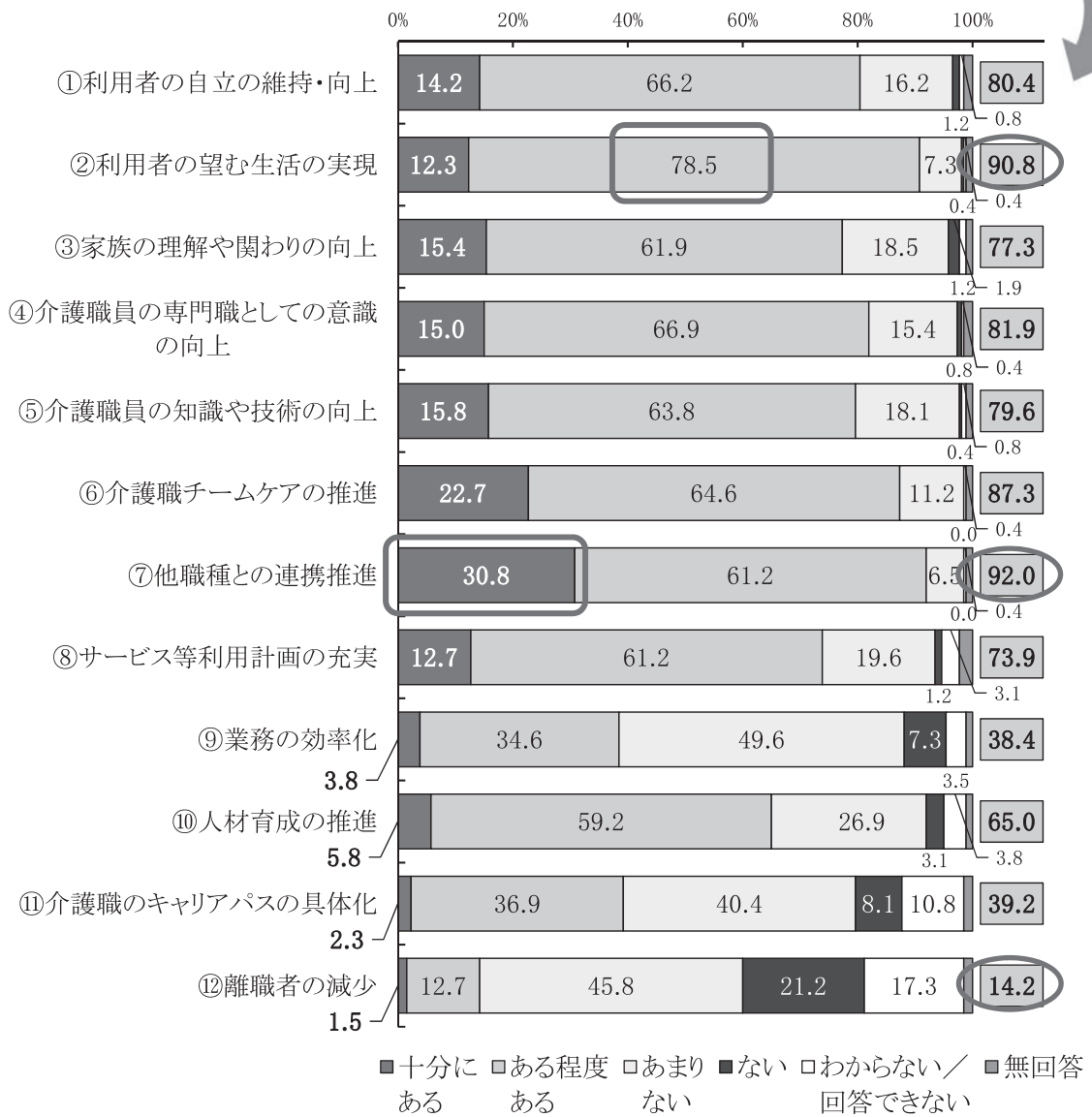
問 8 貴施設において個別介護計画／個別支援計画の作成と、それにもとづく介護実践に取り組んだ結果、どのような変化や効果がありましたか。



介護老人保健施設（n=168） 「十分に」+「ある程度」の合計値



障害者支援施設（n=260） 「十分に」+「ある程度」の合計値



## 5 施設サービス計画／サービス等利用計画に対する介護職の関わり

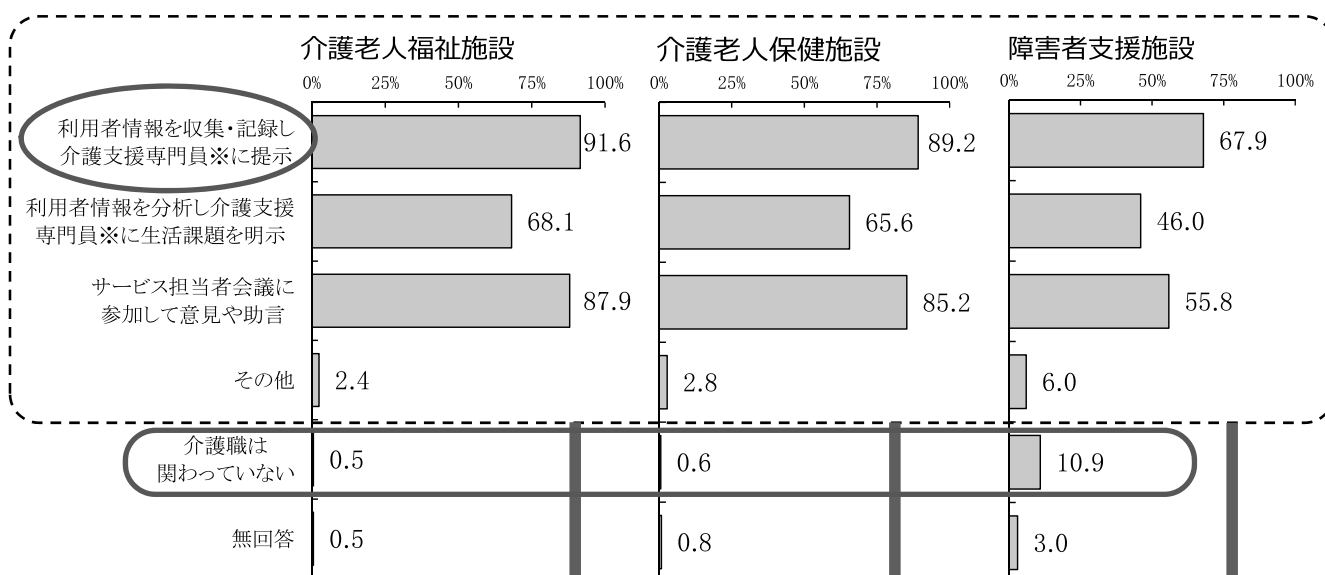
### (1) 施設サービス計画／サービス等利用計画のアセスメント

問9 施設サービス計画／サービス等利用計画の作成・更新のアセスメントに、介護職はどのような関わりを持っていますか。(あてはまるもの全てに○)

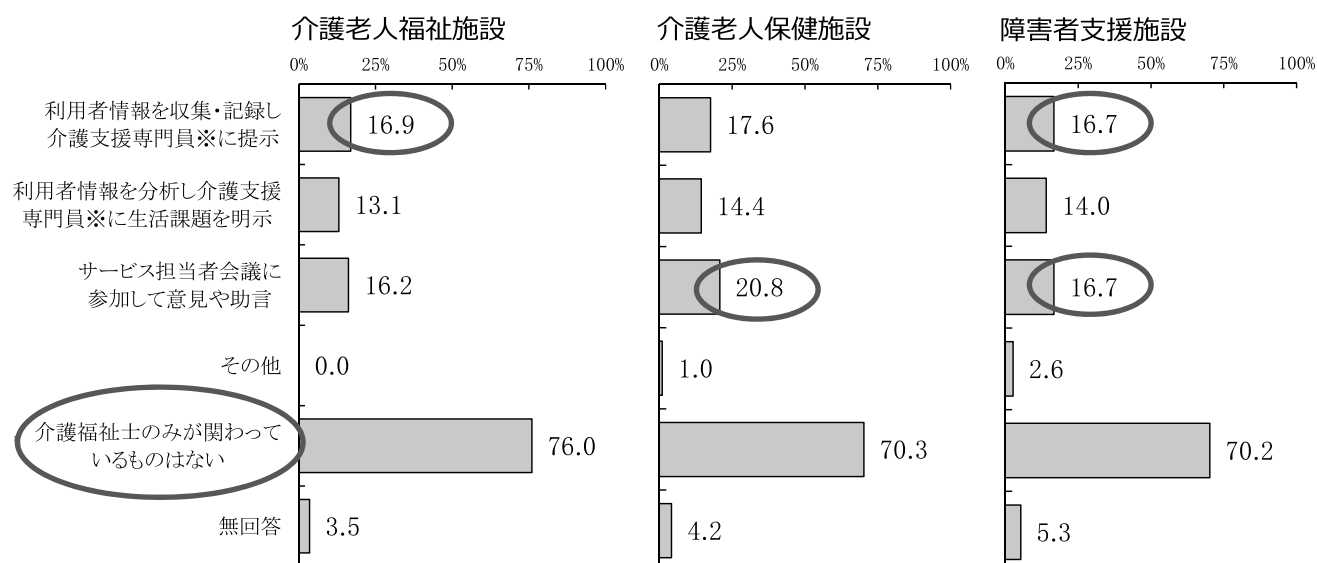
- ・介護職が実施していること=介護老人福祉施設 (n=580)、介護老人保健施設 (n=508)、障害者支援施設 (n=265)
- ・介護福祉士のみが実施していること=介護老人福祉施設 (n=574)、介護老人保健施設 (n=501)、障害者支援施設 (n=228)
- ・選択肢の一部を省略している場合がある

※障害者支援施設の選択肢は、介護支援専門員→相談支援専門員、施設サービス計画→サービス等利用計画

#### 介護職が実施していること



#### 介護福祉士のみが実施していること



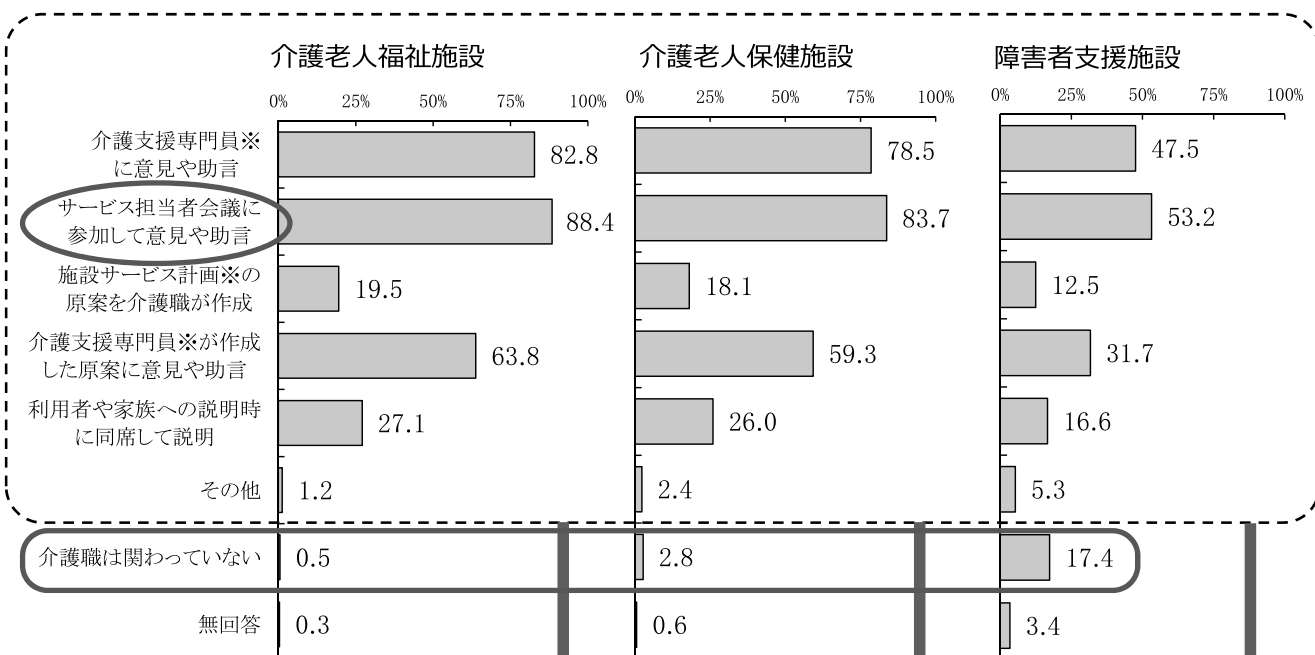
## (2) 施設サービス計画／サービス等利用計画の立案

問 10 施設サービス計画／サービス等利用計画の立案に、介護職はどのような関わりを持っていきますか。(あてはまるもの全てに○)

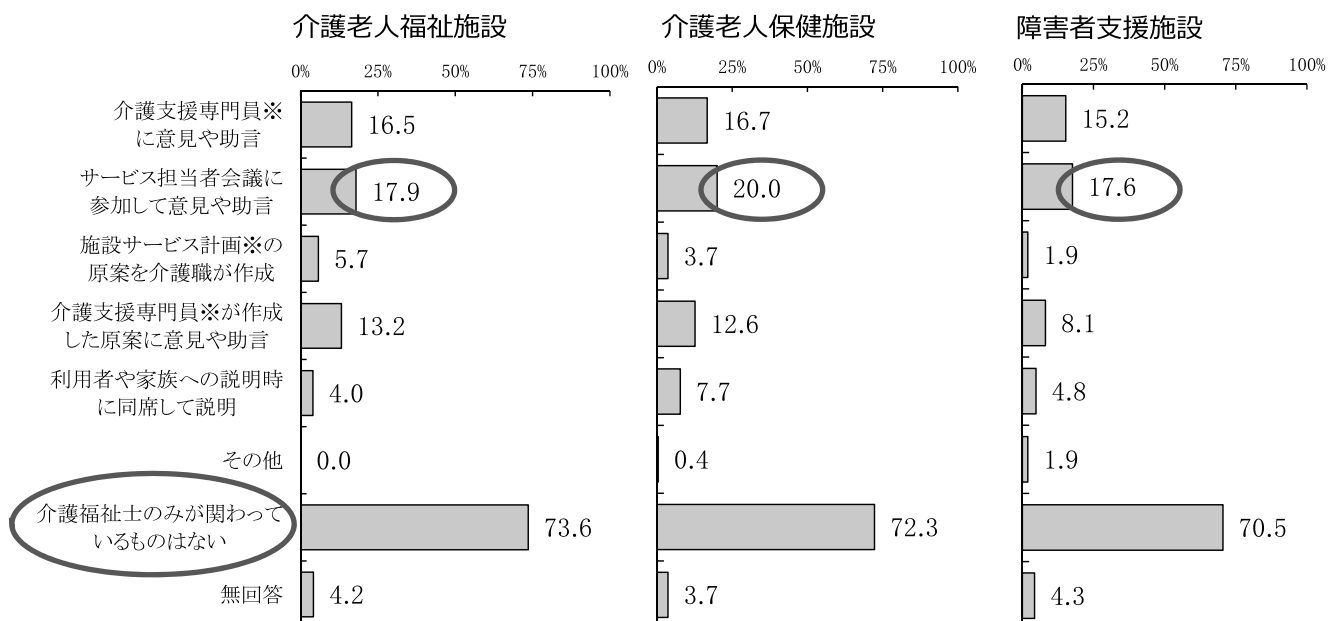
- ・介護職が実施していること=介護老人福祉施設 (n=580)、介護老人保健施設 (n=508)、障害者支援施設 (n=265)
- ・介護福祉士のみが実施していること=介護老人福祉施設 (n=575)、介護老人保健施設 (n=491)、障害者支援施設 (n=210)
- ・選択肢の一部を省略している場合がある

※障害者支援施設の選択肢は、介護支援専門員→相談支援専門員、施設サービス計画→サービス等利用計画

### 介護職が実施していること



### 介護福祉士のみが実施していること

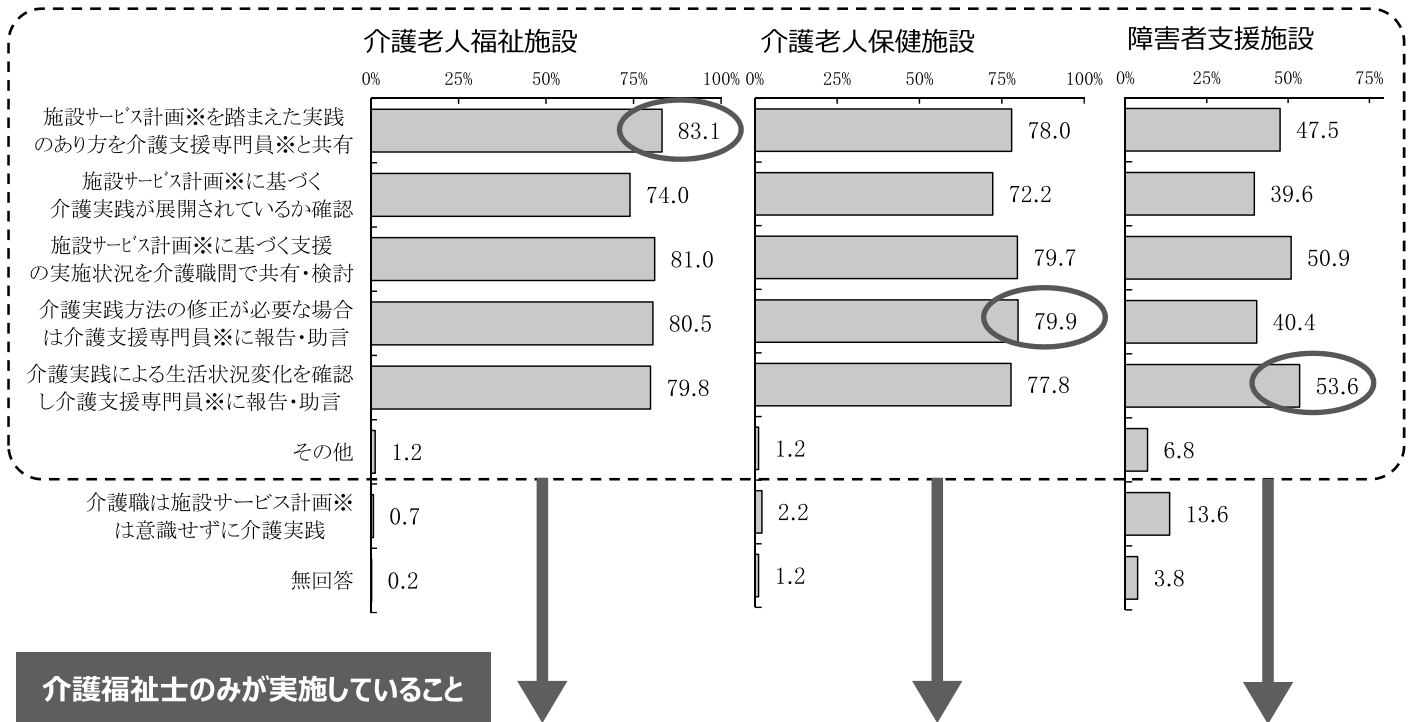


### (3) 施設サービス計画／サービス等利用計画に基づく介護実践

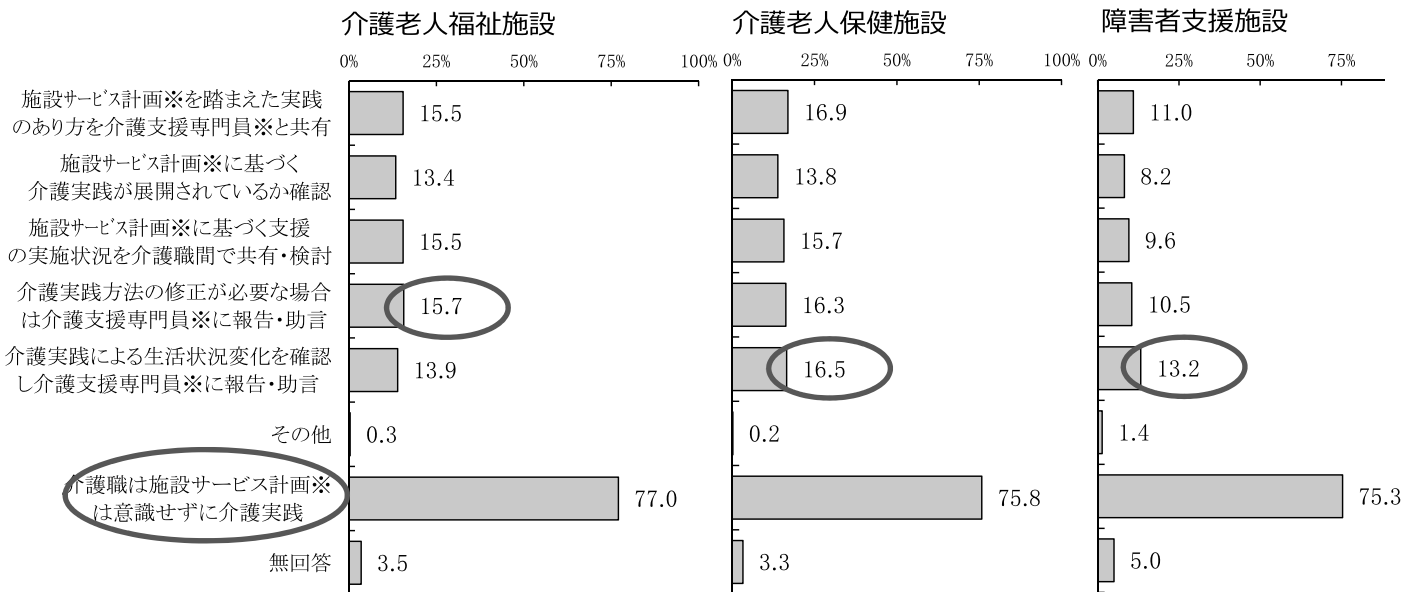
問 11 施設サービス計画／サービス等利用計画に基づく介護実践に、介護職はどのような関わりを持っていますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・介護職が実施していること=介護老人福祉施設 (n=580)、介護老人保健施設 (n=508)、障害者支援施設 (n=265)
  - ・介護福祉士のみが実施していること=介護老人福祉施設 (n=575)、介護老人保健施設 (n=491)、障害者支援施設 (n=219)
  - ・選択肢の一部を省略している場合がある
- ※障害者支援施設の選択肢は、介護支援専門員→相談支援専門員、施設サービス計画→サービス等利用計画

#### 介護職が実施していること



#### 介護福祉士のみが実施していること





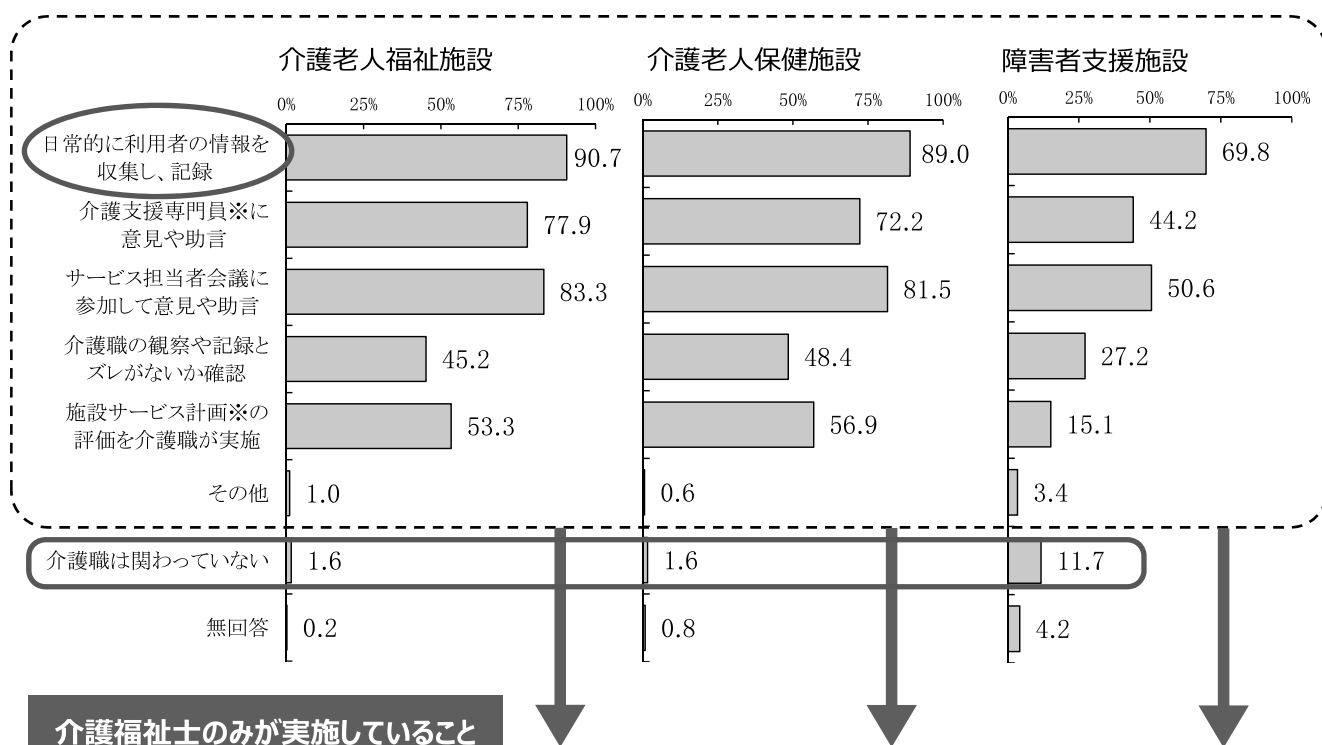
## (4) 施設サービス計画／サービス等利用計画の評価

問 12 施設サービス計画／サービス等利用計画の評価に、介護職はどのような関わりを持っていきますか。(あてはまるもの全てに○)

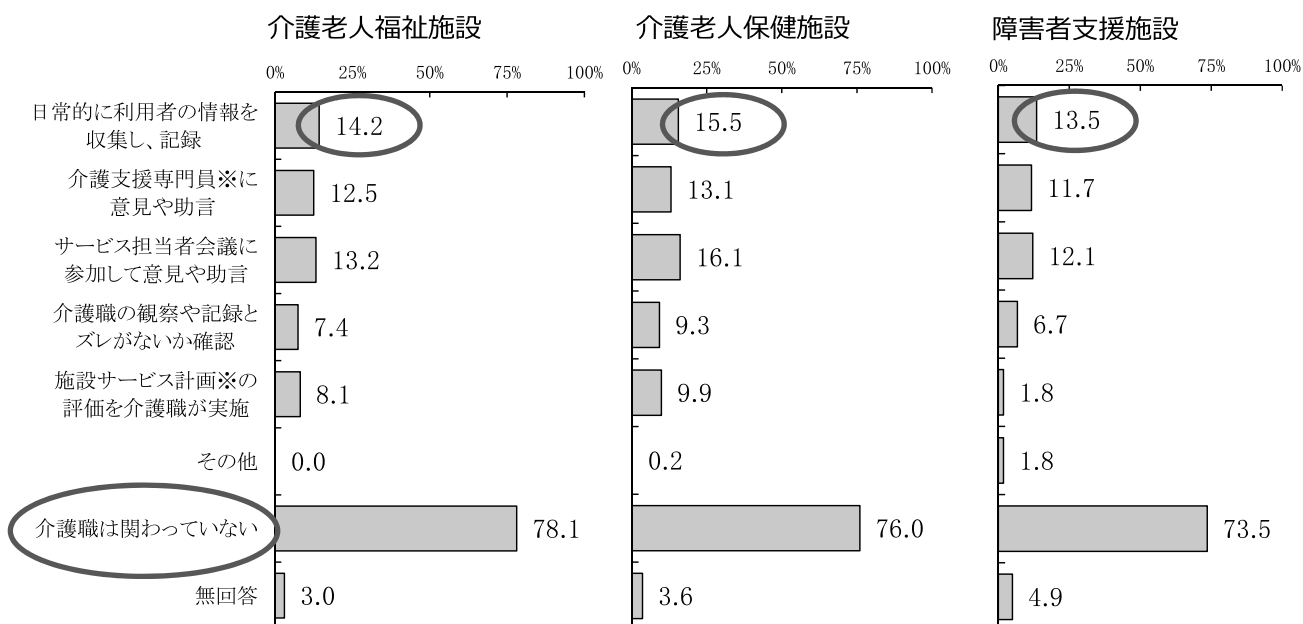
- ・介護職が実施していること=介護老人福祉施設 (n=580)、介護老人保健施設 (n=508)、障害者支援施設 (n=265)
- ・介護福祉士のみが実施していること=介護老人福祉施設 (n=570)、介護老人保健施設 (n=496)、障害者支援施設 (n=223)
- ・選択肢の一部を省略している場合がある

※障害者支援施設の選択肢は、介護支援専門員→相談支援専門員、施設サービス計画→サービス等利用計画

### 介護職が実施していること

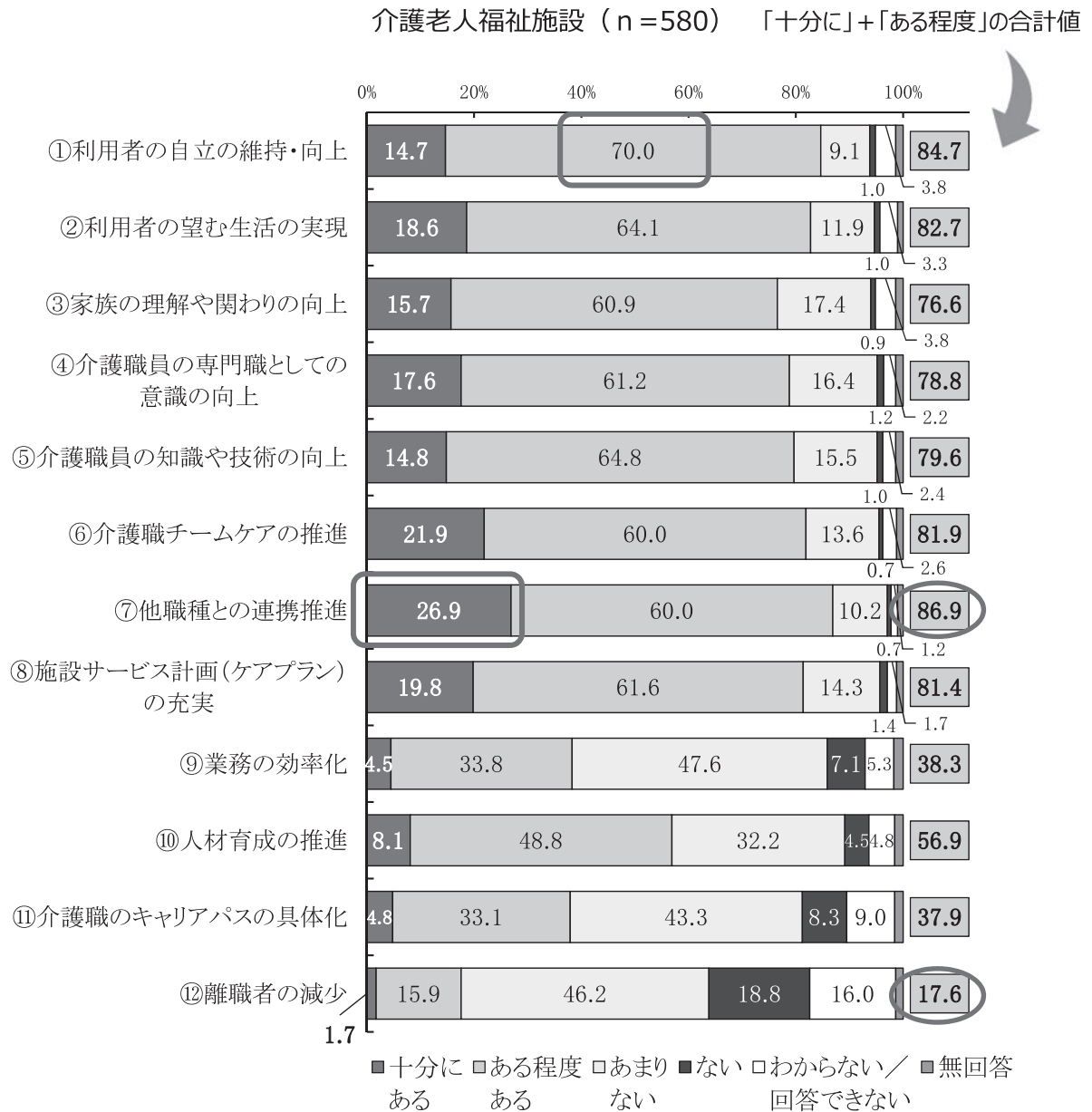


### 介護福祉士のみが実施していること

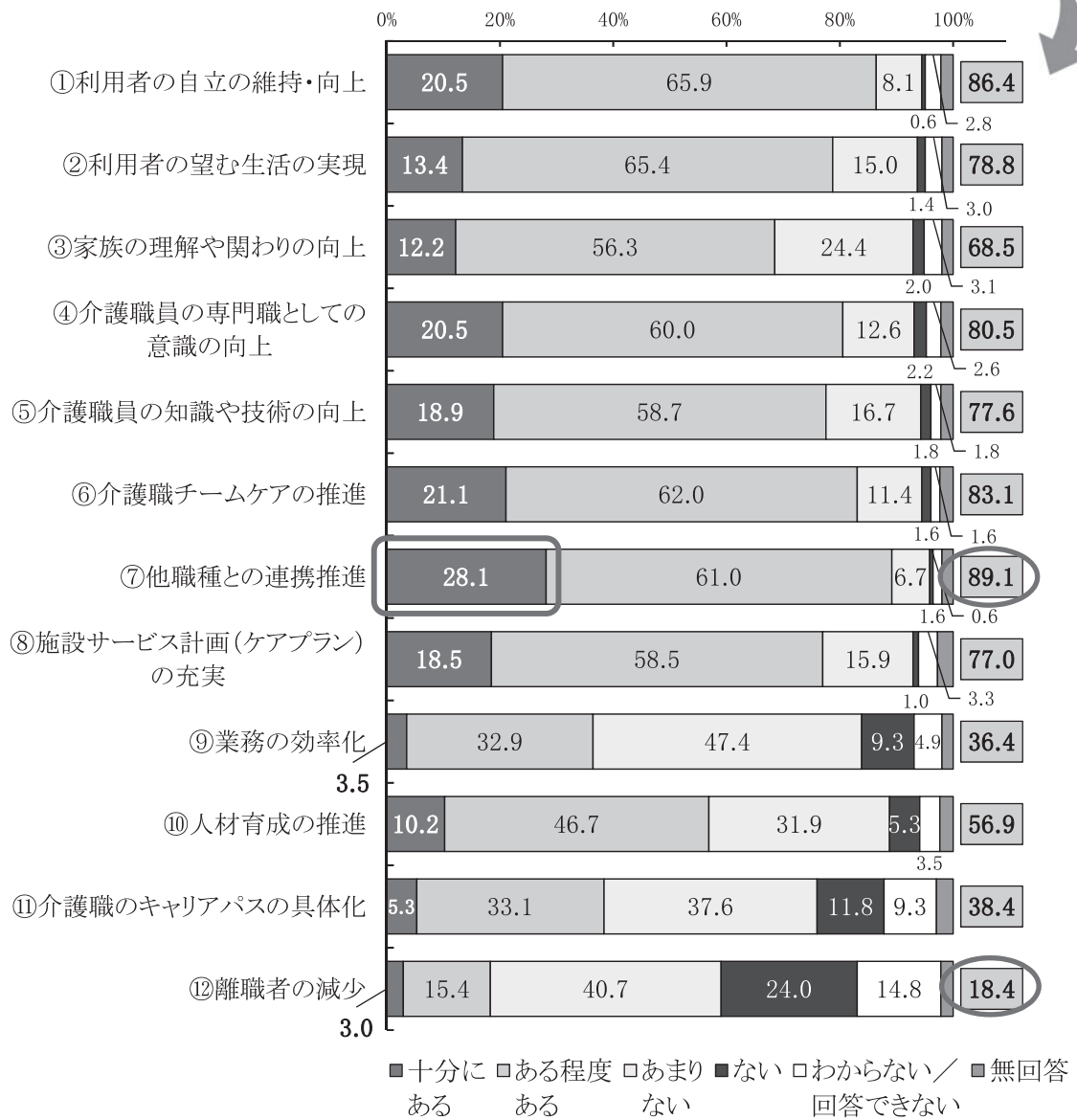


## 6 施設サービス計画／サービス等利用計画に関わることでの効果や変化

問 13 貴施設において、介護職が施設サービス計画／サービス等利用計画の作成に関わることで、どのような変化や効果がありましたか。(それぞれ1つに○)

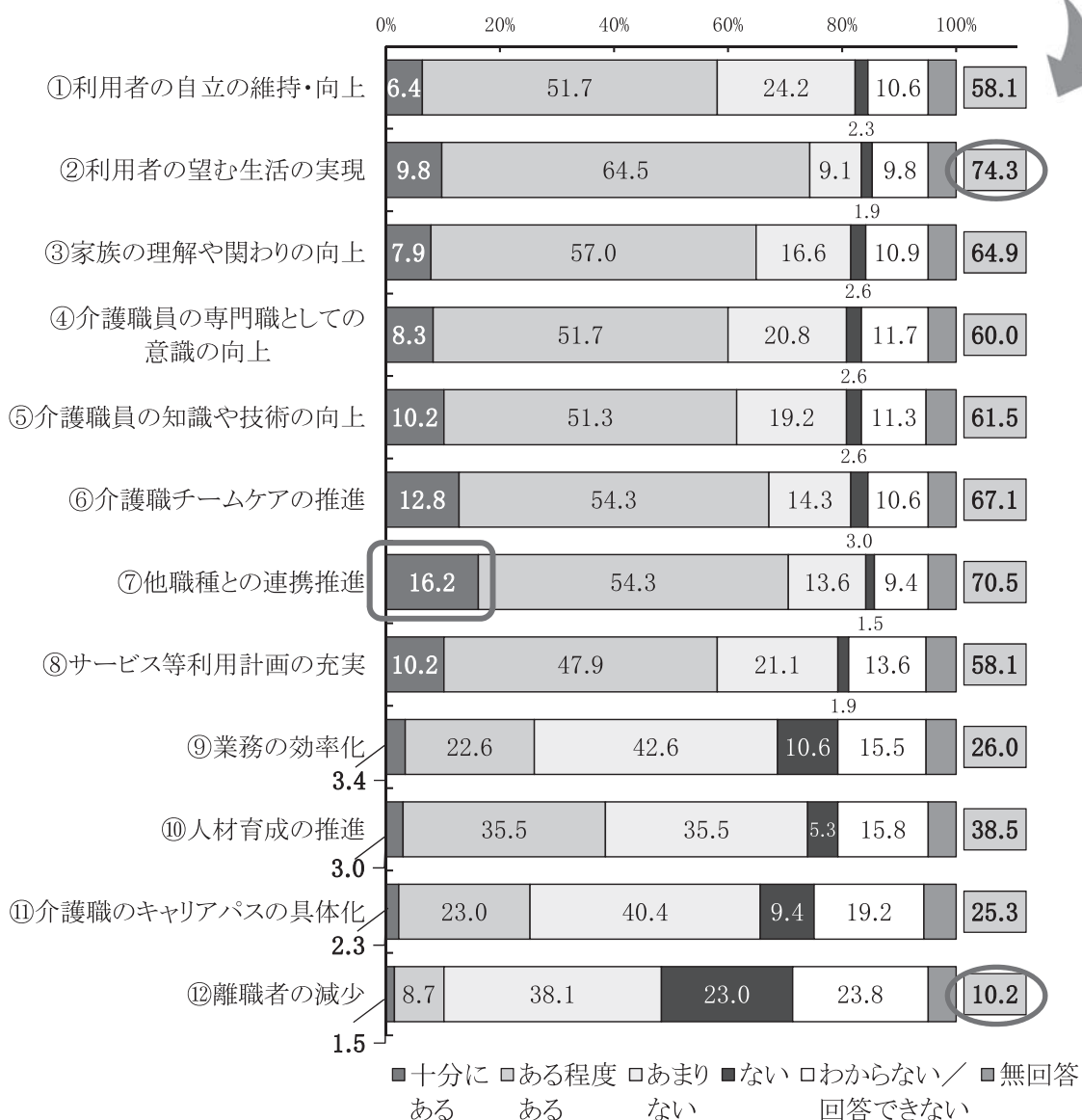


介護老人保健施設(n=508) 「十分に」+「ある程度」の合計値



障害者支援施設(n=265)

「十分に」+「ある程度」の合計値



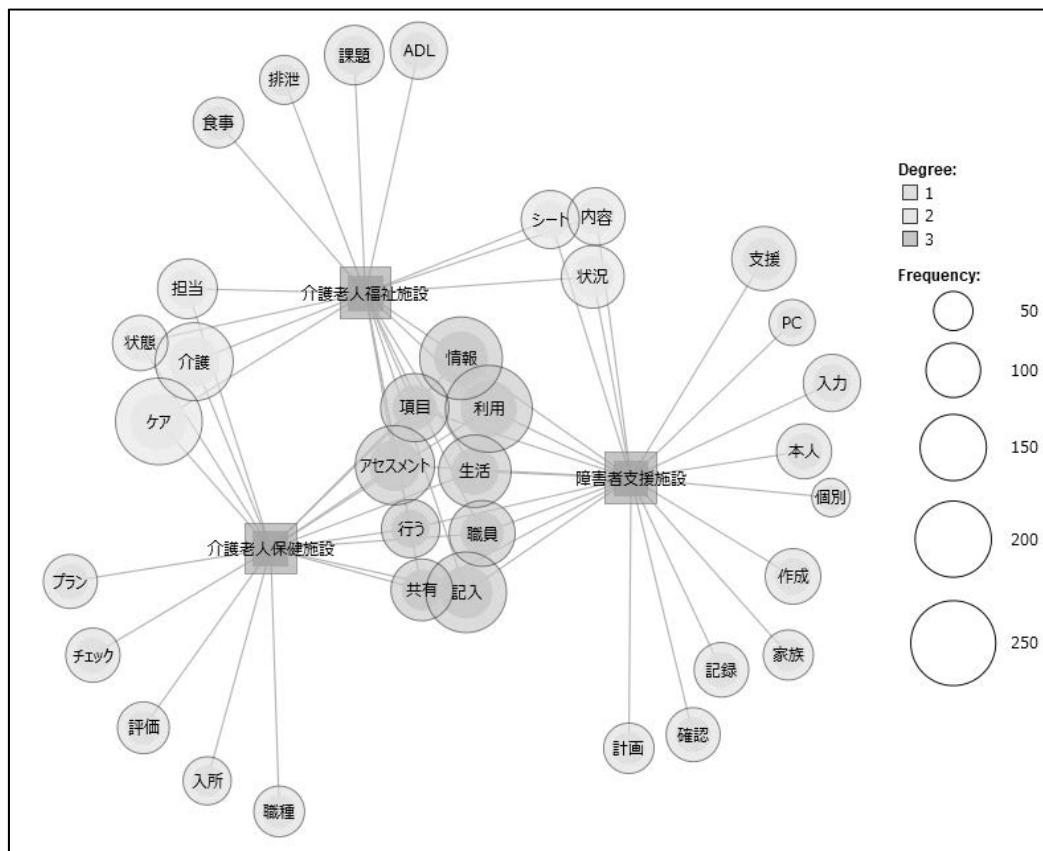
## 7 介護職が用いているツールや書式

問 14 貴施設において、介護職等がアセスメント、計画立案、実施、評価をする際に使用しているツールや書式をお教えてください。既成、独自を問いません。

以下では、KH Corder3 を用いて、関連性が強い単語を抽出した。

### (1) アセスメントの書式等の特徴・利用方法・使用効果

【アセスメント】の書式等において抽出されるキーワード



#### 【介護老人福祉施設】

- 食事、排泄、入浴、整容・口腔ケア・更衣・洗面、基本動作、医療面、心理・社会面にシートが分かれており、場面後の状態・課題がわかりやすい。
- ADL状況の記入。食事、排泄、入浴介助ごとの日中、夜間の関わり方やこだわり、本人の特性や問題行動等を共有する。
- 施設の生活様式を基に、健康状態、ADLの状況が把握できるように工夫している。→その中での課題を導き出せるようにしている。

#### 【介護老人保健施設】

- 入所前にアセスメントした内容と課題抽出を行っている。
- 多職種が独自のプロフェッショナルな視点でシステムを用いることで自立支援を促進することとなる。

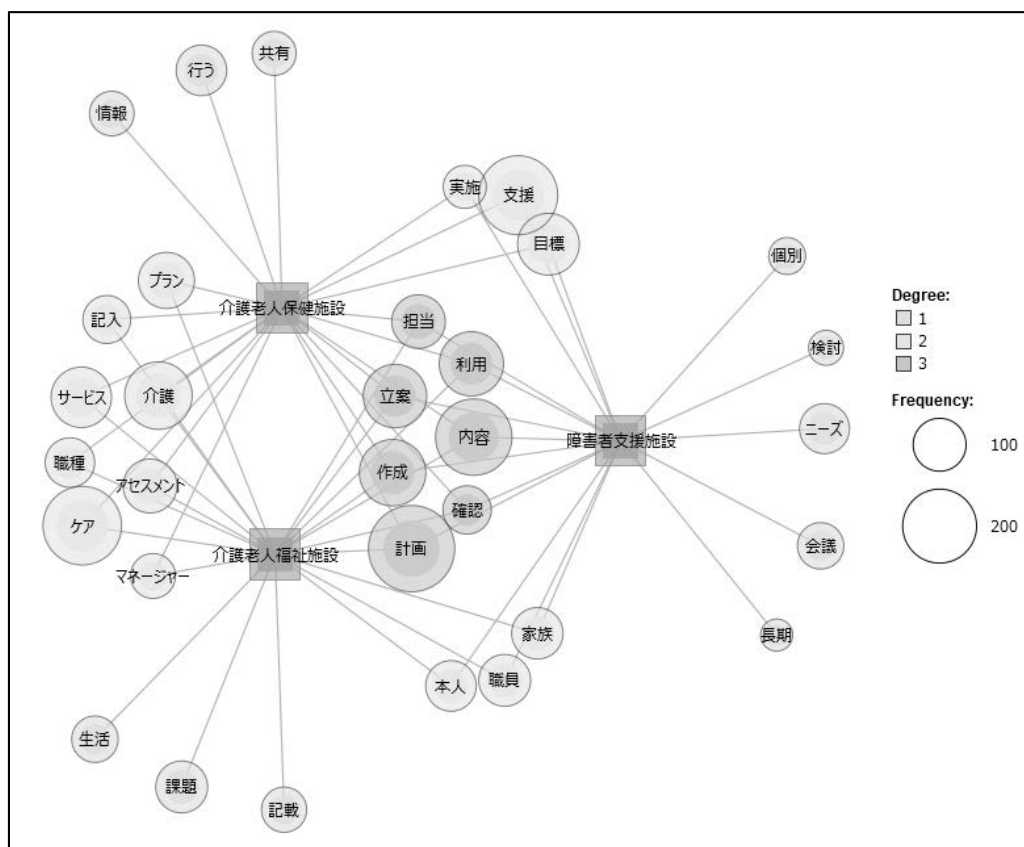
- 基本情報や身体機能など該当する項目をチェックすることで個別の問題領域が抽出される。

### **【障害者支援施設】**

- PC上で本人の思いや状況の変化をデータで管理することができるため比較しやすい。
- ご本人の思いに基づいたプログラムの作成について明記している（自己決定、自己実現、自己責任を基本として）。
- 基本情報と個別支援シートをセットにして個別ファイル化を計っている（PCによる更新入力）。
- 重複障害等、意思疎通が困難な方には、家族のご意見も聞くようにしている。

## (2) 計画立案の書式等の特徴・利用方法・使用効果

【計画立案】の書式等において抽出されるキーワード



### 【介護老人福祉施設】

- アセスメントで抽出した課題や利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえて、援助の方針を決め、サービス内容を作成していく。
- 基本状況や身心の状態、具体的な関わりを記載し、検討事項や課題、ケアの方向性を導き出していく。

### 【介護老人保健施設】

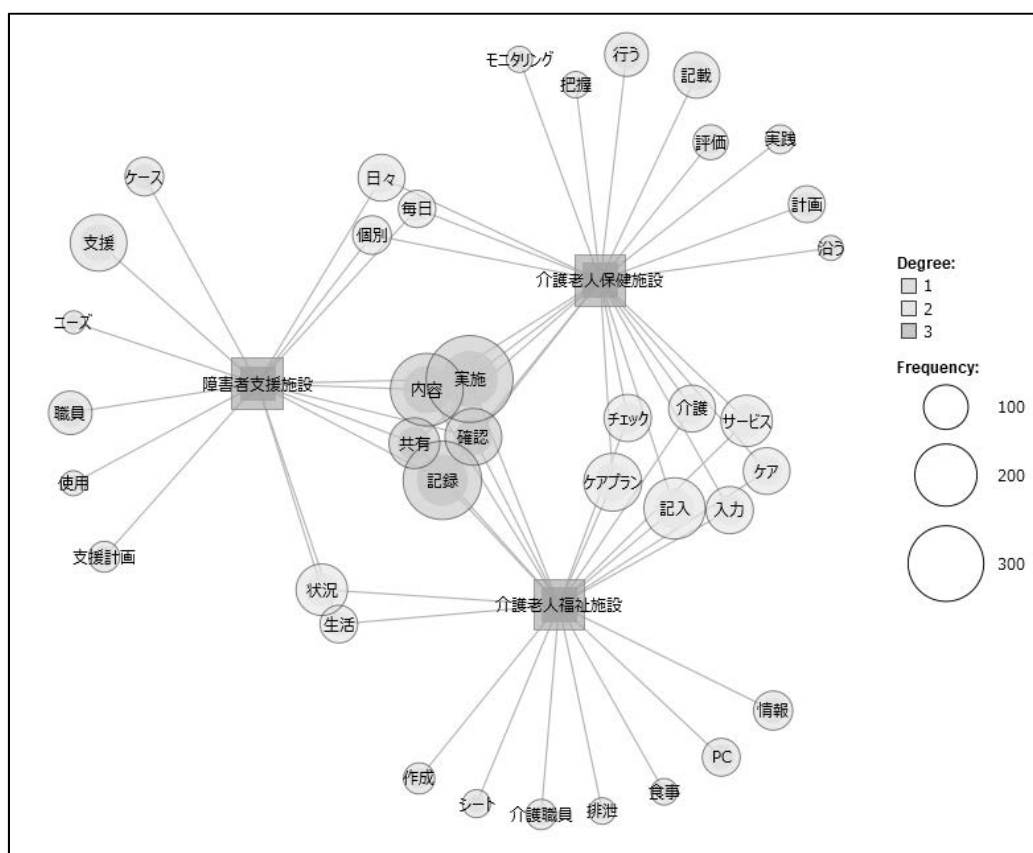
- 各職種の役割を明確にし、各職種で発生した情報を一元化することで「点（個人）（職種）から線（チーム）」へのアプローチが可能。
- 介護、看護、リハビリの三職種が各々の実践目標を立案し、情報共有できるよう1枚の用紙に記入している。
- ケアプランをもとに介護職が行うサービス内容を具体的にあげる。

### 【障害者支援施設】

- 利用者及び家族の希望、相談支援専門員の支援方針、長期目標、短期目標を設定し、段階的に支援をすることができる。
- 生活全般のニーズ、長期目標、短期目標、サービス内容をアセスメントから抽出して作成していく。
- 利用者、家族の希望、望む生活を把握することで個別性を出す。

### (3) 実施をする際に使用している書式等の特徴・利用方法・使用効果

【実施】の書式等において抽出されるキーワード



#### 【介護老人福祉施設】

- 生活全般の解決すべき課題を①食事、②排泄、③移動移乗、④健康管理、⑤余暇利用に分け、どのように実施されているかチェック方式で記入している。
- 介護職員が実践、援助して気づいたことを記入。情報共有と問題提起などがあり、そのときの状況、状態に応じて少し変わる。ケア内容を記録し評価している。新人や若い人も意見を述べやすい。

#### 【介護老人保健施設】

- 計画に沿ったサービス提供が実施されているか記録・確認するシート。
- サービス内容の評価を毎日、チェックしている。
- 毎日、実践チェックを行う。結果についてモニタリングに反映させている。
- カンファレンスで決まったこと、業務のこと、医師や看護師からの指示や依頼など必要な情報を記入する。

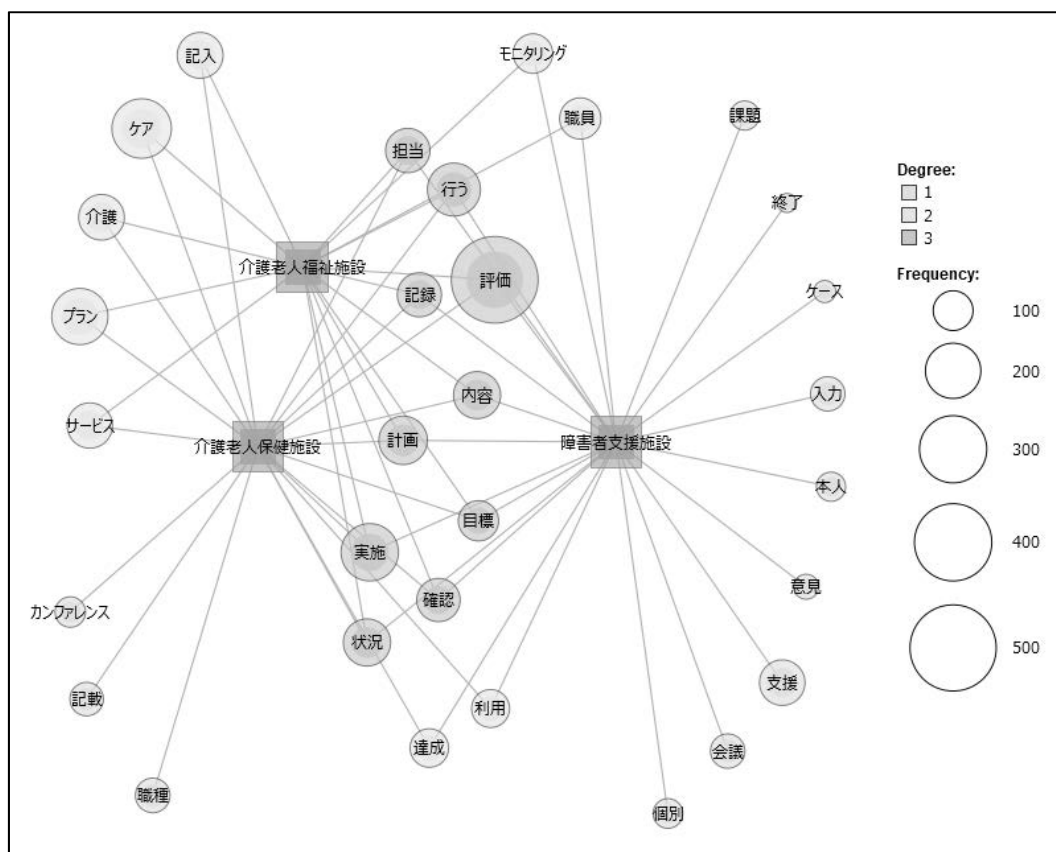
#### 【障害者支援施設】

- 日々のケース記録としてPC入力している。援助内容を基に計画を実施した項目について入力。その際のご本人の様子、状況をくわしく記録している。
- フロアごとに個別の内容を毎日更新し、実施すべきサービス内容が見える化している。
- 利用者への日々の変化に対応し共有できるように毎日、出勤時確認を行い、支援の実践につなげていく。



## (4) 評価をする際に使用している書式等の特徴・利用方法・使用効果

【評価】の書式等において抽出されるキーワード



### 【介護老人福祉施設】

- 1ヶ月の記録（食事・水分・排泄等）を振り返る事により計画に基づく介護が実践できているかを確認できる。
- ケース記録に、計画に基づいたサービスができているか、実施されているサービスが目標達成のために適しているか、目標達成できているか、利用者の変化、利用者と家族が満足されているかの視点で評価している。

### 【介護老人保健施設】

- 提供したサービスの総括を行い、今後のケアの展望を他職種で確認しあい、個別に適したサービスを提供できる。
- ひと月ごとに総括し、ケア項目の見直しを行うとともに、カンファレンスの時にはさらにそれをまとめて評価している。

### 【障害者支援施設】

- サービス提供状況に対して、本人、家族に感想・満足度の確認や達成度（◎、○、△、×）を記入する。今後の課題等を記載し、計画の変更が必要かどうかを検討する。
- 「達成」「やや達成」「未達成」の3段階での評価と、利用者からのコメントをもとに、支援計画の見直しや修正を図る。新たな課題、ニーズに対して専門部署からの意見がある。
- 各職種が評価に向けて各視点から支援に対する経過や変化等について書き出せるようにしています。それを基に中間、終了時評価をして、まとめるようにしています。